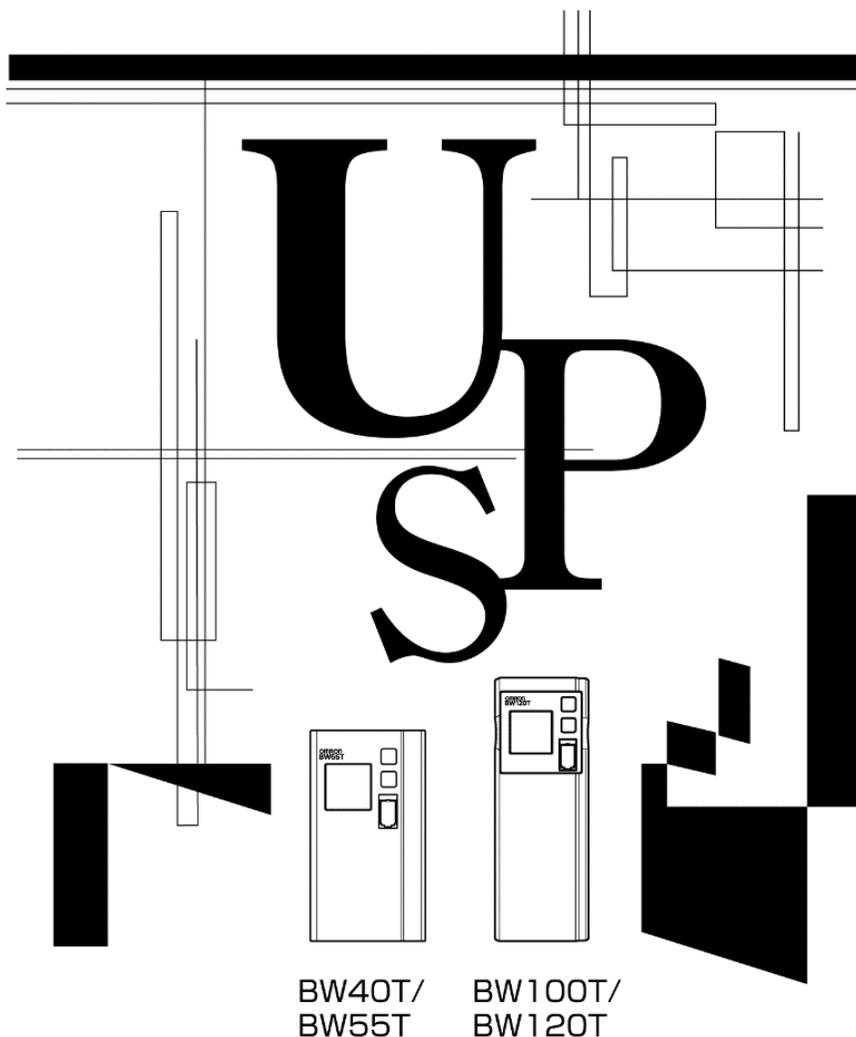


無停電電源装置 (UPS)

BW40T/BW55T/BW100T/BW120T

取扱説明書



- 本取扱説明書には本機を安全に使用するための重要なことが書かれていますので、設置や使用する前に必ずお読みください。
- 当社ホームページよりダウンロードした取扱説明書をいつでも読むことができるようお手元に保管しご使用ください。
- 本取扱説明書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本取扱説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 保証書は本製品に同梱されています。

はじめに

このたびはオムロン「無停電電源装置（以下 UPS）」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
本取扱説明書は、オムロン UPS を使用する上で、必要な情報を記載しています。
お使いになる前に本取扱説明書をよく読んで、機能・性能などを十分に理解し、使用してください。
また、お読みになった後も本取扱説明書は大切に保管して、いつも手元に置いてお使いください。

対象となる読者の方々

本取扱説明書は、次の方を対象に記述しています。

- ・ 電気の知識（電気工事士あるいは同等の知識）を有し、UPS の導入/運用を担当される方。

本製品の特長

- ・ UPS は停電や電圧変動、瞬時の電圧低下、雷などによるサージ電圧（異常に大きな電圧が瞬間的に発生する現象）からコンピュータなどの機器を保護するための装置です。
- ・ 本機は電源入力が AC100V、電源出力が AC100V 仕様、常時商用給電方式の UPS です。
- ・ 通常時は商用電源入力を直接出力します。また、停電、電圧変動など商用電源の異常を検出したときはバッテリーからの給電に切り替えて、正弦波出力を継続します。
- ・ 最大出力容量は、BW40T は 400VA/250W、BW55T は 550VA/340W、BW100T は 1000VA/610W、BW120T は 1200VA/730W です。

UPS の用途について

- ・本機はパソコンなどの OA 機器に使用することを目的に設計・製造されています。
以下のような、極めて高い信頼性や安全性が要求される用途には使用しないでください。
 - ・人命に直接関わる医療用機器。
 - ・人身の損傷に至る可能性のある用途。
(航空機、船舶、鉄道などの運行、運転、制御などに直接関連する用途)
 - ・車載、船舶など常に振動が加わる可能性がある用途。
 - ・故障すると社会的、公共的に重大な損害や影響を与える可能性のある用途。
(主要な電子計算機システム、幹線通信機器、公共の交通システムなど)
 - ・これらに準ずる機器。
- ・人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などについては、システムの多重化、非常用発電設備など、運用維持、管理について特別な配慮が必要となります。
- ・本取扱説明書記載の使用条件・環境などを遵守してください。UPS が故障または発煙、発火、けがなどの事故に至るおそれがあります。
- ・特に信頼性の要求される重要なシステムなどへの使用に際しては、オムロン電子機器カスタマサポートセンターへご相談ください。
- ・装置の改造・加工は行わないでください。
- ・本機は、日本国内専用品です。
 - ・日本国外の電源には対応しておらず、日本国外での使用は故障、火災の原因になることがあります。また、日本国外の法規制には対応しておりません。
 - ・日本国外への輸出および日本国外での使用は、お客様の判断と責任の下で行われるものとし、当社は一切の責任を負いません。
 - ・お客様の判断により本製品を輸出(個人による携行を含む)される場合は、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出されると同法により罰せられます。

情報処理装置など電波障害自主規制(VCCI)の 適合クラスについて

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

免責事項について

取扱説明書に記載の安全上のご注意を含む設置から運転までの手順を守らなかったことによって生じた損害、当社製品に起因する他の装置・接続機器・ソフトウェアの異常、故障その他の二次的な損害、その他の当社製品によって生じた損害(事業利益の損失、事業中断、情報の損失またはその他の金銭的損害を含む)の賠償および補償には応じかねます。

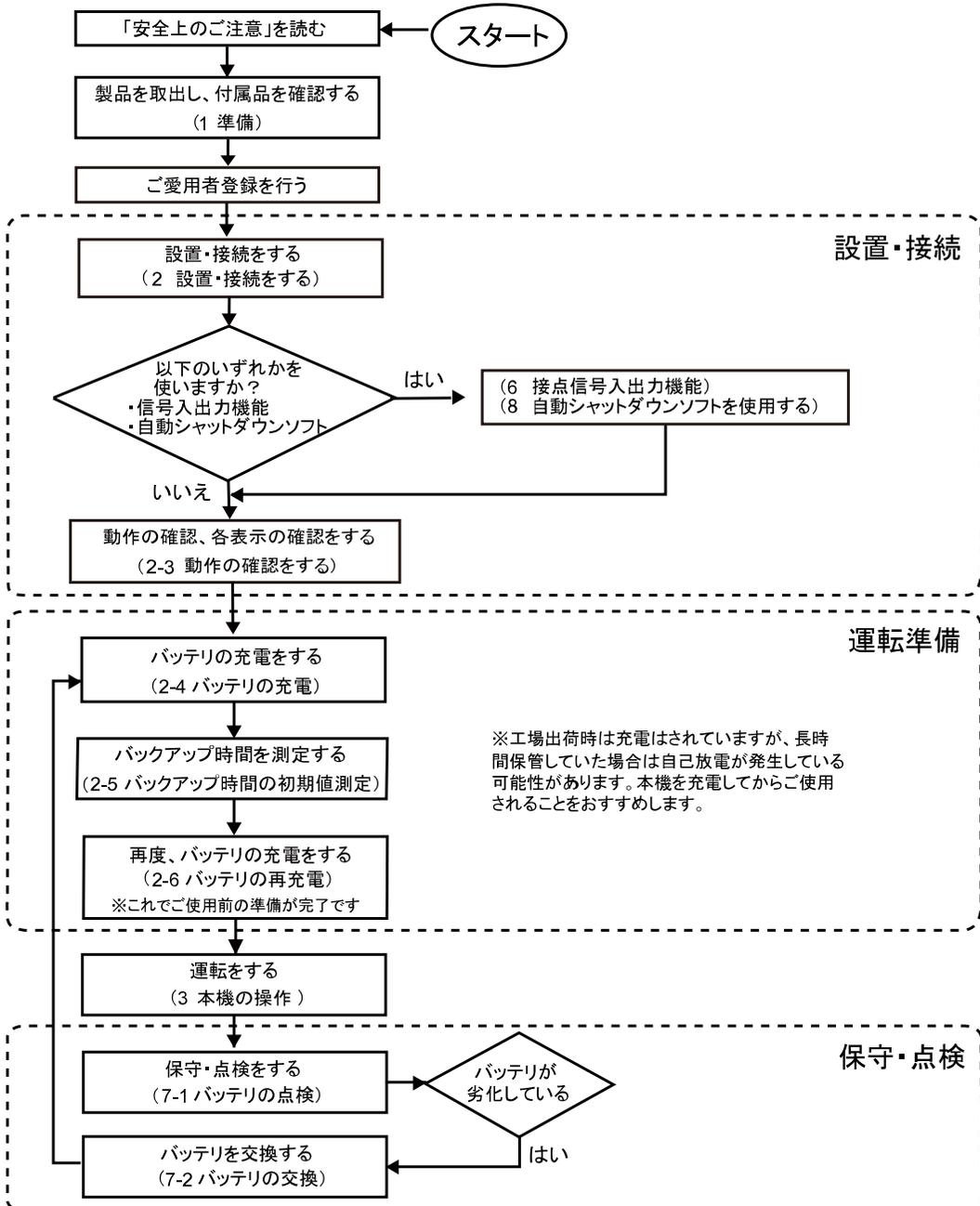
- 最初に安全上のご注意について記載していますので、必ずお読みになり、正しくご使用ください。
- 本機を第三者に譲渡・売却する場合は、本機に添付されている書類などすべてのものを本機に添付の上、譲渡してください。
本機は添付書類など記載の条件に従うものとします。
- ユーザ登録のお願い
ご購入日より1か月以内に、付属のご愛用者登録はがきに必要事項をご記入の上、当社までご送付ください。
ホームページ(https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/regist/regist.html)からもご登録いただけます。

- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、各会社名、各社製品名は各社の商標または登録商標です。

© OMRON SOCIAL SOLUTIONS CO.,LTD. 2018-2021 All Rights Reserved

設置から運転までの手順

設置から運転までの手順を示しています。



目次

はじめに	2
設置から運転までの手順	5
安全上のご注意	8
1 準備	16
1-1 製品を取り出す	16
1-2 付属品を確認する	16
1-3 各部の名称	17
1-3-1 ボタンの機能	19
2 設置・接続をする	20
2-1 設置する	20
2-2 機器の接続方法	21
2-2-1 「電源出力」への機器の接続	21
2-3 動作の確認をする	22
2-4 バッテリーの充電	24
2-5 バックアップ時間の初期値測定	24
2-6 バッテリーの再充電	24
3 本機の操作	25
3-1 運転・停止方法と基本的な動作	25
3-1-1 電源が OFF の状態で、商用電源に「AC 入力」プラグが接続された時	25
3-1-2 運転開始方法	25
3-1-3 停電時の動作	25
3-1-4 停電が回復した時	26
3-1-5 運転停止方法	26
3-1-6 ブザー音の一時停止	26
3-2 ブザー音・表示の見方	27
4 本機の機能について	31
4-1 ブザー音を一時停止する	31
4-2 自己診断テストの説明	31
4-3 UPS 設定ユーティリティソフトについて	32
5 バックアップ時間を測定する	33
5-1 バックアップ時間の測定方法	33

5-2	バックアップ時間の目安.....	33
6	接点入出力機能.....	35
6-1	信号入出力の種類.....	35
6-2	USB/接点ポートのピン配置.....	36
7	保守・点検について.....	38
7-1	バッテリーの点検.....	38
7-1-1	バッテリーの寿命(交換時期の目安).....	38
7-1-2	バッテリーの点検方法.....	39
7-1-3	バッテリー点検(バックアップ時間の測定)の目安、頻度.....	39
7-2	バッテリーの交換.....	39
7-2-1	バッテリーの交換方法.....	41
7-3	本体のお手入れ方法.....	50
8	自動シャットダウンソフトを使用する.....	51
8-1	自動シャットダウンソフトの概要.....	51
8-1-1	自動シャットダウンソフト対応状況.....	52
8-1-2	自動シャットダウンソフト機能一覧表.....	53
8-2	自動シャットダウンソフトの使い方.....	55
8-2-1	PowerAct Pro.....	55
8-2-2	Simple Shutdown Software.....	55
8-2-3	PowerAttendantLite について.....	56
8-2-4	自動シャットダウンソフトの設定.....	57
9	参考資料.....	58
9-1	仕様.....	58
9-2	外形寸法図.....	59
9-3	回路ブロック図.....	61
9-4	関連商品.....	61

安全上のご注意

安全上のご注意

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。
設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

- この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。



: 禁止(してはいけないこと)を示します。例えば  は分解禁止を意味しています。



: 強制(必ずしなければならないこと)を示します。例えば  はアースの接続が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告

本機を、下記のような極めて高い信頼性や安全性が求められる用途に使用しないこと。

※ 本機は、パソコンなどの OA 機器に使用することを目的に設計・製造されています。

- 人命に直接関わる医療機器やシステム。
- 人身の安全に直接関連する用途。(例: 車両などの運行、運転、制御など)
- 故障すると社会的、公共的に重大な損害を与える可能性のある用途。
(例: 主要なコンピュータシステム、幹線通信機器など)
- 上記に準ずる用途。



ドライヤー、一部の電磁弁など、交流電源の半サイクルのみで電流が流れる半波整流機器を接続しないこと。

- 本機が故障または発煙、発火のおそれがあります。



アース接続(接地)を確実に実施すること。

- 電源コンセントのプラグの形状を確認の上、本機の「AC入力」プラグをそのまま差し込んでください。
アース接続を実施しないと、故障や漏電があった場合に感電することがあります。



分解、修理、改造をしないこと。

- 感電したり、火災を起こす危険があります。




警告

使用保管環境は仕様範囲を超えないこと。

次のような場所で設置や保管をしないこと。

- 温度が-15℃よりも低い／温度が40℃よりも高い場所、湿度が10%RHよりも低い／湿度が90%RHよりも高い場所で保管しないこと。
- 温度が0℃よりも低い／温度が40℃よりも高い場所、湿度が25%RHよりも低い／湿度が85%RHよりも高い場所で使用しないこと。
- 隙間のないキャビネットなど密閉した場所／可燃性ガスや腐食性ガスがある場所／塩分、水滴がある場所／極端にほこりの多い場所／導電性のほこりがある場所／直射日光が当たる場所／振動や衝撃が加わる場所／屋外など。



● 発煙、発火のおそれがあります。

ケーブルをはさんだり、無理に折り曲げて使用しないこと。

束ねた状態で使用しないこと。

- ケーブルの損傷や発熱により、感電したり、火災を起こす危険があります。
- ケーブルに傷のある場合はすぐに本機の使用を中止し、修理を依頼してください。
- 修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。



吸排気口は塞がないこと(天面・側面・背面)。

- 内部温度が上昇し、本機の故障、バッテリー劣化の原因となります。
- 壁から5cm以上離して設置してください。



本機は内部の制御回路機能が故障あるいは誤動作により停止した場合でも、接続機器へ電力を供給できるバイパス出力回路を装備しています。

出力を停止したい場合は「商用電源」の供給を止めるか、「AC入力」プラグを抜きます。

- 表示部の表示がすべて消えていても出力は続きます。
- 前面の「電源」ボタンでの出力のON/OFF操作はできなくなります。



接続機器の保守を行う場合は、必ず本機の「電源」ボタンを切り、「AC入力」プラグを抜いた状態で行うこと。

- 本機の電源出力は、本機が運転状態のとき「AC入力」プラグを抜いても出力は停止せず、コンセントから電力が供給されます。



バッテリー接続コネクタの端子間をショートさせないこと。

- 感電するおそれがあります。



当社指定の交換バッテリー以外は使用しないこと。

- 指定以外の交換バッテリーの使用は、本機の故障、または発煙・発火のおそれがあります。
- 同じ種類、同じ数のバッテリーパックに交換してください。
- 商品型式: BW40T/BW55T 交換用バッテリーパック: BWB55T 1個
BW100T/BW120T 交換用バッテリーパック: BWB120T 1個



本機には設計上の標準使用期間があるため、計画的に本機を交換し、設計上の標準使用期間を超えて使用しないこと。

- 設計上の標準使用期間を超えてそのまま使用を続けた場合、経年劣化により、正常にバックアップできなくなる、または突然運転を停止するなどの誤動作や故障の原因になります。また、発煙・発火が生じ、火災などの事故に至るおそれがあります。
- 本機の設計上の標準使用期間は、周囲温度が25℃の場合で7年、40℃の場合で5年です。ただし、設計上の標準使用期間は周囲環境(温度、塵埃)によっても異なるため、保証値ではなく目安となります。



警告

コイル(トランス、電磁石)、モータなどの誘導性の機器を単体で接続しないこと。

- 本機が故障、または発煙・発火のおそれがあります。



注意(設置・接続時)

重量・バランスに注意して運搬し、安定した頑丈な場所に置いて使用すること。

- 転倒や落下するとけがをすることがあります。
- 本体質量：
BW40T/BW55T: 約4.5kg
BW100T/BW120T: 約7.9kg
- 落下させた場合はすぐに本機の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。
修理についてはオムロン電子機器修理センターへご相談ください。



梱包のポリ袋は幼児の手の届かない場所に移すこと。

- 小さいお子様がかぶったりすると、呼吸を妨げる危険性があります。



本機の「AC入力」プラグは必ず定格入力電圧(AC100V)、周波数50/60Hzの電源コンセント(商用電源)に接続すること。

- 電圧、周波数の違う電源コンセント(商用電源)に接続すると、火災を起こすことがあります。
- 本機が故障することがあります。



異常(異音・異臭)時は本機の「電源」ボタンを切って出力を停止し、「AC入力」プラグを電源コンセントから引き抜くこと。

「AC入力」プラグは電源コンセントからすぐに抜ける状態で設置すること。

- 接続機器の保守時なども、安全のため上記に準じて実施してください。



以下の電流容量のある電源コンセント(商用電源)に接続すること。

- ・BW40T : 5.0A
- ・BW55T : 7.0A
- ・BW100T : 11.0A
- ・BW120T : 14.5A
- 電源配線が発熱することがあります。
- 出力容量最大限の機器を接続した場合、最大で以下の電流が流れます。
 - ・BW40T : 5.0A
 - ・BW55T : 7.0A
 - ・BW100T : 11.0A
 - ・BW120T : 14.5A



指定外の方向で設置しないこと。

- 転倒や落下するとけがをすることがあります。
- 指定方向以外で設置されると、バッテリーが液漏れしたときの保護ができません。



本機の出力量を超える機器を接続しないこと。

テーブルタップなどで接続機器の増設を行えますが、この場合はテーブルタップなどの電流容量を超える機器を接続しないこと。

- 本機がオーバーロード(過負荷)を検出し、出力を停止します。
- テーブルタップの配線が発熱し、火災を起こすことがあります。



⚠ 注意 (設置・接続時)

変圧トランス、絶縁トランスなどを出力側に接続しないこと。

- 過電流により本機が故障または動作異常となることがあります。
- 入力側に接続する場合でも本機が故障または動作異常となることがあります。
必ず事前に動作確認を行ってからご使用ください。



最高気温が 40°C を超える場所で使用しないこと。

- バッテリーが急速に劣化します。
- 本機が故障したり、誤動作を起こすことがあります。



⚠ 注意 (使用時)

濡らしたり、水をかけないこと。

- 感電したり、火災を起こすことがあります。
- 水に濡らした場合はすぐに本機の使用を中止し、AC入力ケーブルを抜いて点検、修理を依頼してください。
- 修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。



寿命が尽きたバッテリーはすぐに交換するか、本機の使用を中止すること。

- 使用を続けると液漏れにより火災や感電の原因になることがあります。

周囲温度	期待寿命
25°C	5 年
30°C	3.5 年
40°C	1.7 年

※ 左の表は標準的な使用条件での期待寿命であり、保証値ではありません。



「AC入力」プラグ、電源出力コンセントのほこりは、ときどき乾いた布でふき取ること。

- 長期間ほこりが付着したままにしておくと火災の原因となることがあります。
- ほこりをふき取る際は接続機器および本機をすべて停止し、「AC入力」プラグを電源コンセント(商用電源)から抜いてください。



密閉した場所で使用したり、カバーを掛けたりしないこと。

- 異常な発熱や火災を起こすことがあります。
- ご使用環境によっては、バッテリーから水素ガスが発生する場合があります、破裂または爆発の原因となることがあります。本機周辺の換気を行ってください。



変な音や臭いがした、煙が出た、内部から液体が漏れたときは、本機の「電源」スイッチを切って出力を停止し、「商用電源」の供給を止めること。

- このような状態で使用すると火災を起こすことがあります。
- このような状態になったら必ず使用を中止し、お買い求めの販売店かオムロン電子機器修理センタに点検・修理を依頼してください。
- 使用時は外部ブレーカを設置して、異常発生時にすぐにブレーカを切ることができる状態にしておいてください。



内部から液体(希硫酸)が漏れたら、液体にさわらないこと。

- 失明したり、やけどをするおそれがあります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



上にものを乗せたり、重量物を落下させないこと。

- ケースのゆがみや破損、内部回路の故障により火災を起こすことがあります。





注意(保守時)

分解、修理、改造しないこと。

- 感電したり、火災を起こす危険があります。



内部から液体(希硫酸)が漏れたら、液体にさわらないこと。

- 失明したり、やけどをするおそれがあります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



本機を火の中に投棄しないこと。

- バッテリーを内蔵していますので、バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。



本機の「電源出力」コンセントに金属物を挿入しないこと。

- 感電するおそれがあります。



注意(バッテリー交換時)

交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。

- バッテリーは落下しないよう、しっかりと保持してください。
- 落下によるけが、液漏れ(希硫酸)によるやけどなどの危険があります。



可燃性ガスがある場所でバッテリー交換をしないこと。

- バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になるおそれがあります。



バッテリーから液漏れがあるときは液体(希硫酸)に触らないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



バッテリーの分解、改造をしないこと。

- 希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどのおそれがあります。



バッテリーを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

- 希硫酸が漏れたりすることがあります。



バッテリーを金属物でショートさせないこと。

- 感電、発火、やけどのおそれがあります。
- 使用済みバッテリーでも内部に電気エネルギーが残っています。



バッテリーを火の中に投げ入れたり、破壊したりしないこと。

- バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。



お願い

寒い場所から暖かい所へ移動された直後は、数時間放置してから使用開始してください。

- 急に暖かい所へ移動すると水分が付着し(結露)、そのまま通電すると故障することがあります。

購入されましたら、早目に充電(12時間以上)してください。

- ご購入後長期間使用しないと、バッテリーの特性が劣化し、使用できなくなることがあります。
- 本機の「AC入力」プラグを電源コンセント(商用電源)に差し込むことでバッテリーを充電できます。

本機を保管される場合は12時間以上充電し、電源をOFFにしてください。

お願い

- バッテリーは使用しない場合でも自然放電し、長期間放置しますと過放電状態となります。バックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。
- 長期間保管される場合は 25°C以下の環境を推奨します。

保管温度 25°C以下の場合 6 か月以内、保管温度 40°C以下の場合 2 か月以内に本機の「AC 入力」プラグを 12 時間以上商用電源コンセントに接続してください。

- 保管中は本機の「電源」ボタンを切ってください。

本機の出カライン間のショート(短絡)、および出カラインをアースにショート(地絡)しないように注意してください。

- 本機が故障することがあります。

バックアップ運転中に本機の「AC 入力」プラグを本機の「電源出力」コンセントに差し込まないでください。

- 本機が故障することがあります。

ページプリンタ(レーザプリンタなど)を本機に接続しないでください。

- ページプリンタはピーク時の電流が大きく、接続容量オーバーを検知することがあります。

本機を自家発電装置などの電源周波数が大きく変動する機器と組み合わせて使用する場合は、必ず事前に動作確認を行ってからご使用ください。

- 本機は入力電源が供給された時に入力電源周波数を自動認識しています。入力電源周波数が規定値でない状態で本機を接続すると、電源周波数の誤認識を起こし正常に動作しない場合があります。本機が起動している状態で商用電源から発電装置などの電源に切り替わる場合には、問題ありません。ただし、発電機の周波数は商用電源と一致させてください。

頻繁にバックアップ動作をする用途に使用しないでください。

- バッテリーが劣化し、規定のバックアップ時間を維持できなくなります。

本機を直射日光の当たる場所に設置あるいは保管しないでください。

- 温度上昇により内蔵バッテリーが急速に劣化し、使用できなくなることがあります。

商用電源を切る前に、本機の電源を OFF にしてください。

- 商用電源が停止すると、バックアップ運転になります。バックアップ運転の頻度が高くなるとバッテリー寿命が著しく短くなる場合があります。

本機はバッテリーを接続しない状態では起動しません。

- 過放電状態や、劣化したバッテリーを接続した状態でも起動しません。ご注意ください。

耐電圧試験をしないでください。

- 電源入力線にサージ吸収素子が入っており、耐電圧試験をされるとサージ吸収素子が破壊されます。
- 絶縁抵抗試験をする場合は、DC250V レンジで実施してください。

お願い

本機を第三者に譲渡・売却する場合は、本機に添付されている書類などすべてのものを本機に添付のうえ譲渡してください。本機は添付書類など記載の条件に従うものとさせていただきます。

- 本取扱説明書には、安全に関わる内容などが記載されています。内容をご確認の上、ご使用ください。また、本取扱説明書を紛失された場合は、販売店までご連絡ください

同梱されているすべての付属品は、本機を使用する場合に限り使用できるものです。

他の機器には使用しないでください。

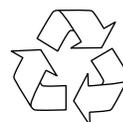
- 機器を安全にご使用いただくために必ずお守りください。

商用電源にて使用できない機器は接続しないこと。

- この製品には、鉛バッテリーを使用しています。

鉛バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。

リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。



Pb

解説

日常の運用方法について

- 本機の「電源」ボタンは入れたまま(運転状態)でも、接続されているシステムの停止のたびに切ってもどちらでも問題ありません。お客様のご都合の良い方法で運用してください。
長期間接続機器を使用しないときは「電源」ボタンを切っておくことをお勧めします。
- 本機の「AC入力」プラグを電源コンセント(商用電源)に差し込むことでバッテリーを充電できます。

バックアップ運転終了について

- 停電時間が長くなるとバッテリーが放電し、本機からの電源出力が停止します。本機が電源供給している間にパソコンを正しい手続きで終了(データをセーブするなどの処置)するようにしてください。

再起動について

- 停電中にバッテリーが放電してしまうと、本機は停止します。その後停電などの電源異常が回復すると、本機は自動的に再起動し、電源供給します。接続機器を動作させたくないときは、「電源」ボタン、あるいは接続機器のスイッチを切っておいてください。

参照▶ 「設定画面」で自動再起動の有効/無効を設定できます(3-2 「ブザー音・表示の見方」
■設定項目と設定値一覧)。

データの保護やシステム冗長化など不測の事態への対処を行ってください。

- 本機は内部回路の故障により出力が停止する場合があります。

1 準備

1-1 製品を取り出す

1 準備

1-1 製品を取り出す

梱包箱をあけ、本機と付属品を取り出してください。

1-2 付属品を確認する

付属品がすべて揃っているか、外観に損傷はないか確認してください。
万一、不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐに販売店へご連絡ください。

使用上の注意事項	1 枚
保証書	1 枚
ご愛用者登録はがき	1 枚
ご愛用者登録のご案内	1 枚
3P-2P 変換アダプタ	1 個
動作状態の見方ラベル	1 枚
操作パネル英文版ラベル	1 枚
バッテリー交換日ラベル	1 枚
接続ケーブル(USB)	1 本
横置き用ゴム足	4 個 1 組
シリアルラベル	4 枚 1 組
自動シャットダウンソフト PowerAct Pro ご利用にあたって	1 枚
QR コード対応 Web サイトのご案内/付属品(紙媒体)の変更について	1 枚

本機を UL 規格適合品としてご使用される場合は、3P-2P 変換アダプタは使用しないでください。

<ご愛用者登録を行う>

ご購入日より1か月以内に、付属のご愛用者登録はがきに必要事項をご記入の上、当社までご送付ください。

ホームページ(https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/regist/regist.html)からもご登録いただけます。

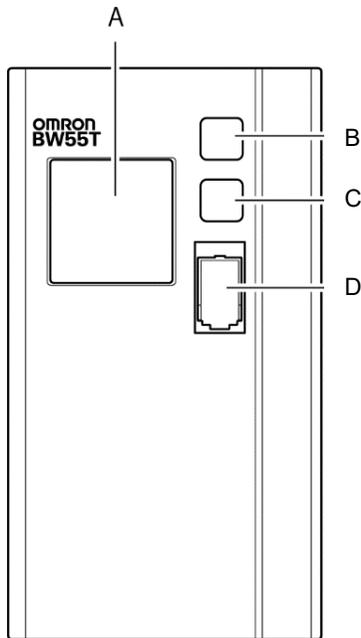
1-3 各部の名称

本機の各部の名称を説明します。

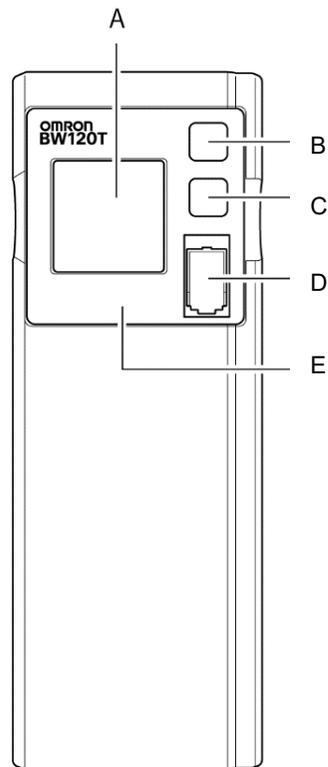
各部の機能については、「2 設置・接続をする」、「3 本機の操作」などで詳しく説明していますので、あわせてご覧ください。

■ 前面

BW40T/BW55T



BW100T/BW120T

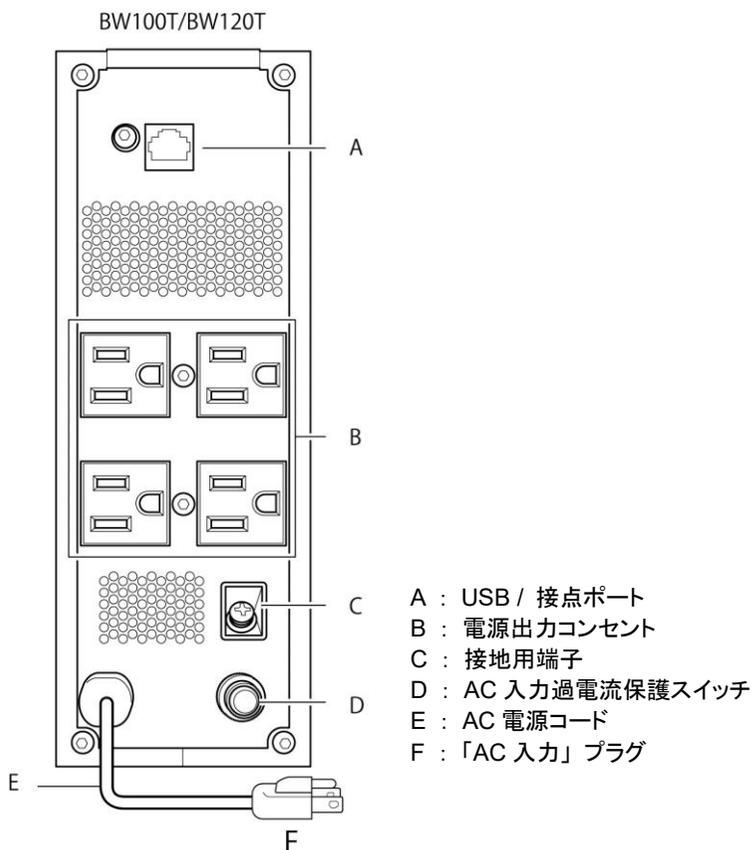
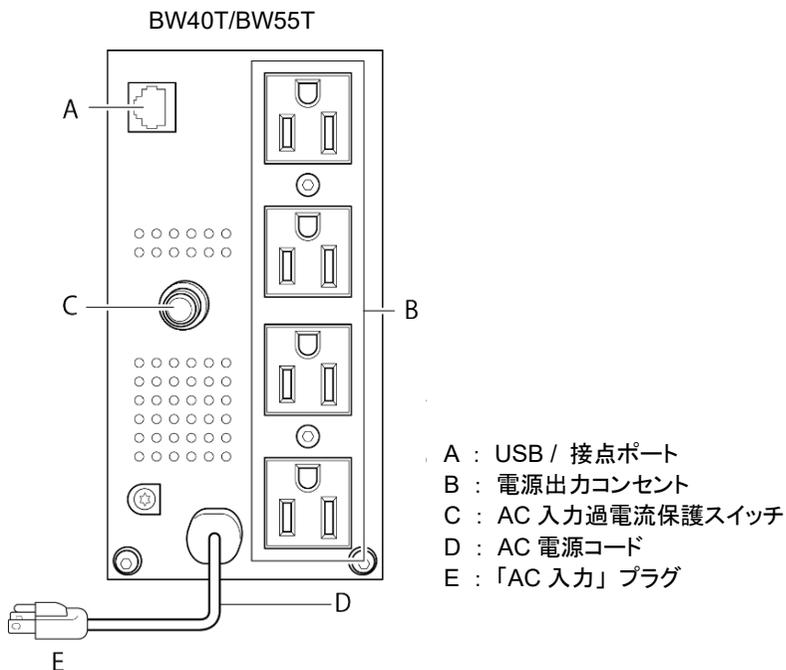


- A : ディスプレイ
- B : 「ブザー停止/決定」ボタン
- C : 「選択」ボタン
- D : 「電源」ボタン
- E : 操作表示部 (BW100T/BW120T のみ)

1 準備

1-3 各部の名称

■背面

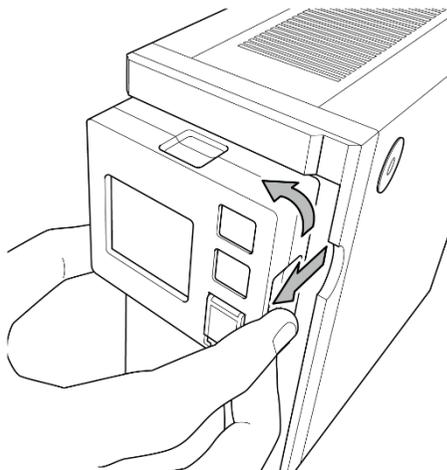


●フロントパネル操作表示部の回転(BW100T/BW120T)

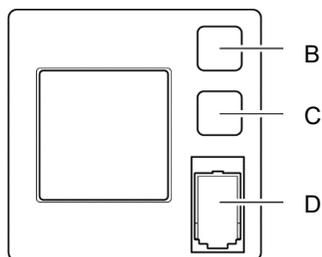
本体の縦置き、横置きに合わせて、操作表示部を90°回転することができます。

操作表示部を手前に引き出して回転させ、押し込みます。

※90°以上回転させないでください。コードが損傷することがあります。



1-3-1 ボタンの機能



B:「ブザー停止/決定」ボタン

ブザーを停止します。

長押しで変更した設定値を確認します。

C:「選択」ボタン

設定項目を選択します。

長押しで設定値を変更します。

D:「電源」ボタン

長押しで電源を ON/OFF します。

※「ブザー停止/決定」ボタンと「選択」ボタンを同時に押すと
通常画面と設定画面の切り替えが可能です。

2 設置・接続をする

2-1 設置する

2 設置・接続をする

2-1 設置する

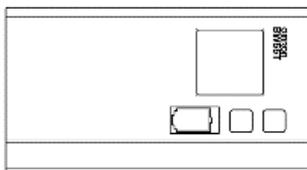
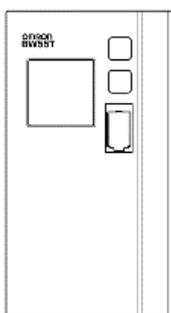
本機を設置します。
下図で指定した正しい設置方向以外では使用しないでください。

お願い

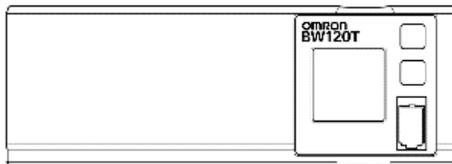
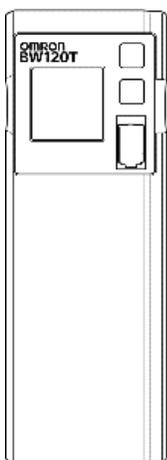
当社へお問い合わせいただく際、製品シリアル番号が必要となります。
製品シリアル番号は本体天面の記載内容か、付属品のシリアルラベルでご確認ください。

正しい設置方向

<BW40T/BW55T>



<BW100T/BW120T>



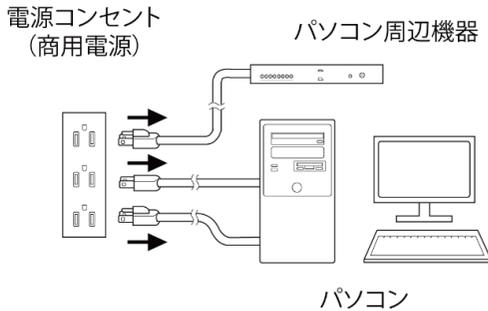
指など挟みこまないよう十分気をつけること

※付属の横置き用ゴム足を底面になる面の4隅に貼り付けてください。

2-2 機器の接続方法

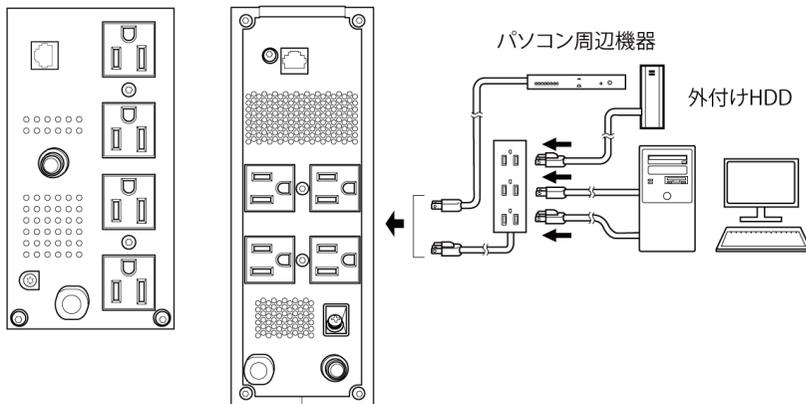
2-2-1 「電源出力」への機器の接続

1. パソコン、周辺機器などバックアップする機器の「AC入力」プラグをすべて、電源コンセント（商用電源）から抜きます。



2. バックアップが必要な機器を本機の「電源出力」コンセントに接続します。
※本機の出カコンセントが不足の場合はテーブルタップなどを別途ご購入のうえ、出カコンセントに増設してください。

<BW40/55T> <BW100/120T>



- ・ 接続機器の入カプラグ形状が2Pの場合でもそのまま本機の「電源出力」コンセントに接続できます^{注1)}。

(注1) UL規格適合品として使用する場合は、この接続はできません。

3. 無償ダウンロードの自動シャットダウンソフト、Windowsの標準UPSサービスを使用される場合、本機とパソコンを接続ケーブルで接続します。

参照 「8 自動シャットダウンソフトを使用する」

※自動シャットダウンソフトを使用されない場合はこの操作は不要です。

2 設置・接続をする

2-3 動作の確認をする

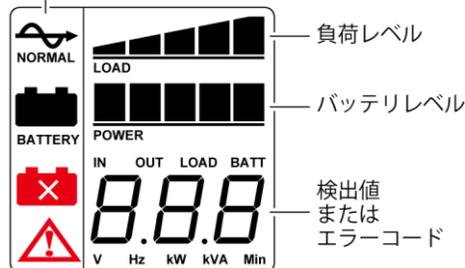
2-3 動作の確認をする

本機にバックアップする機器を接続したら下記手順にてバックアップ運転が正常に行われることを確認します。

この動作確認は「AC入力」プラグを電源コンセント(商用電源)から抜くことで、停電が発生した場合を模擬したものです。

●ディスプレイの見方

状態表示アイコン



※この画面は説明のため、すべて点灯状態になっています。
ディスプレイが消灯した場合は、ボタンを押すと再び点灯します。

1. 本機の「電源」ボタンを3秒以上押します。
約10秒間バックアップ運転になり自己診断テストを開始します。
自己診断中は「検出値」に「FU」と表示されます。状態表示アイコンは下記の表示になります。
自己診断テストが正常に終了すれば商用電源からのAC出力に切り替わります。
※バッテリー電圧が低い時は自己診断テストを実施せず、ただちに商用電源からの出力で運転開始します。

状態表示	説明
	電源 ON 正常動作中

2. 接続されている機器をすべて動作状態にします(パソコンのサービスコンセントに接続されている機器を含む)。
※接続機器の電源が途中で停止しても支障のない状態で運転してください。
本機は充電して出荷していますがはじめてご使用になる場合は自然放電によりバックアップ時間が短くなっている場合があります。本機を満充電してからお使いいただくことをお勧めします。

3. この状態で本機の状態表示を確認します。

状態表示	
電源出力コンセント	電源出力する(接続機器通電状態)

- 上記の表示になる → 動作は正常です。手順4へ進んでください。
上記表示にならない → 異常です。「3-2 ブザー音・表示の見方」のいずれかの表示になります。
対処方法にしたがって処置を行ってから手順4に進みます。

4. 本機の「AC入力」プラグを電源コンセント(商用電源)から抜きます。
バックアップ運転状態になります。

5. バックアップ運転状態で本機の状態表示を確認します。



動作は正常です。手順6へ進んでください。

上記の表示にならない→

異常です。一度「電源」ボタンを切ってください。

- ・「3-2 ブザー音・表示の見方」の表示の場合は、対処方法にしたがって処置を行ってから再度、手順1に戻ってください。
- ・まったくバックアップせずに本機と接続機器が停止した場合は、バッテリーの充電不足が考えられます。
本機の「AC入力」プラグを電源コンセント(商用電源)に接続して12時間以上バッテリーの充電を行ってから、再度、手順4に戻ってください。
- ・上記2点を確認しても解決しない場合はオムロン電子機器カスタマサポートセンターにご相談ください。

6. 「AC入力」プラグを、再び電源コンセント(商用電源)に接続します。
状態表示が元の状態に戻ります。

状態表示	説明
	電源ON 正常動作中

以上で動作の確認は終了です。

以上で設置・接続はすべて完了しました。

2 設置・接続をする

2-4 バッテリーの充電

2-4 バッテリーの充電

本機の「AC入力」プラグを電源コンセント(商用電源)に接続することにより自動的にバッテリーの充電が開始され、最長12時間で充電が完了します。

※本機の電源がON/OFFどちらの状態でも充電します。

- 本機は充電して出荷していますがはじめてご使用になる場合は自然放電によりバックアップ時間が短くなっている場合があります。充電してからお使いいただくことをお勧めします。
- 次項「2-5 バックアップ時間の初期値測定」を実施しない場合は、「3 本機の操作」の操作を行ってください。

2-5 バックアップ時間の初期値測定

お客様のご使用環境で本機のバックアップ時間初期値を測定しておくこと、バッテリーの点検を行ったり自動シャットダウンソフトの設定値を決める際の目安になります。

 「5 バックアップ時間を測定する」

2-6 バッテリーの再充電

バックアップ時間測定後は、バッテリーが完全に放電しています。使用開始前に再充電が必要です。
※充電しながら接続機器を使用することも可能ですが、充電完了するまでは停電発生時のバックアップ時間が短くなります。

この場合、充電開始直後に停電が発生すると、すぐにバックアップが停止します。

 「2-4 バッテリーの充電」

以上で運転開始前の準備がすべて完了しました。

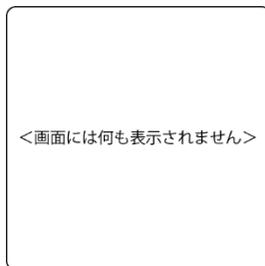
3 本機の操作

3-1 運転・停止方法と基本的な動作

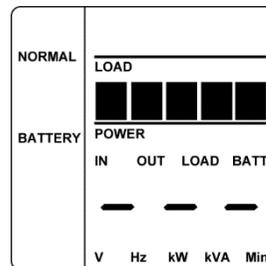
3-1-1 電源がOFFの状態で、商用電源に「AC入力」プラグが接続された時

- ・ 電源出力は停止しています。
- ・ バッテリーは自動充電を開始します。

AC入力OFFで電源ボタンOFFの場合



AC入力ONで電源ボタンOFFの場合



※状態表示アイコンは点灯しません。

3-1-2 運転開始方法

1. 「電源」ボタンを3秒以上押します。
 - ・ 自己診断中は「検出値」に「FU」と表示されます。状態表示アイコンは下記の表示になります。
 - ・ 自己診断テストが正常に終了すれば商用電源からのAC出力に切り替わります。
 - ・ 自己診断テストを実行しなかった時は、すぐに商用電源からのAC出力になります。

状態表示	
電源出力コンセント	電源出力する(接続機器通電状態)

- ・ 運転中は、バッテリーは自動充電されます。

3-1-3 停電時の動作

- ・ 停電や入力電源異常が発生すると、自動的にバッテリーモードに切り替わりバッテリーからの電力で「電源出力」コンセントから電源出力を継続します。
- ・ バッテリーモードでは下記のアイコンが表示されます。



3 運転・停止方法と基本的な動作

3-1 運転・停止方法と基本的な動作

3-1-4 停電が回復した時

- ・ バッテリモードで電源出力している間に、停電や電源異常から回復した時は、自動的に商用電源からの出力に戻ります。バッテリーは充電が開始されます。
- ・ バッテリを使い切ると本機の電源出力は停止します。その後、停電／入力電源異常が回復した時は、本機は自動的に再起動し電源出力を再開します。消費したバッテリーは充電が開始されます。

参照 「設定画面」で自動再起動の有効/無効を設定できます(3-2 「ブザー音・表示の見方」
■設定項目と設定値一覧)。

3-1-5 運転停止方法

電源 ON の状態で「電源」ボタンを 3 秒以上押します。

- ・ 電源出力は停止します。
- ・ 電源を OFF にしても商用電源から電力が供給されていれば、バッテリーは自動充電されます。

3-1-6 ブザー音の一時停止

ブザー鳴動時に「ブザー停止/決定」ボタンを押すとブザーが一時停止します。

参照 「設定画面」でブザーの有効/無効を設定できます(3-2 「ブザー音・表示の見方」
■設定項目と設定値一覧)。

3-2 ブザー音・表示の見方

○:点灯 ●:消灯 ◐:点滅

No.	状態表示	状態表示 アイコン	ブザー	出力	充電	説明	対処方法
1		なし	なし	OFF	OFF	AC 入力なし 動作停止中	
2	---	なし	なし	OFF	ON	AC 入力あり 「電源」ボタン「切」	
3	※1		なし	ON	ON	「電源」ボタン[入] 正常動作中	
4	FU		なし	ON	OFF 放電中	自己診断テスト中	
5	※2		断続 4 秒間隔	ON	OFF 放電中	停電あるいは AC 入力異常 のため、バックアップ運転 中。このままバックアップ運 転を続けると出力停止。	ご使用の接続機器を終了処理し た後、接続機器を停止してくだ さい。
6	BL		断続 1 秒間隔	ON	OFF 放電中	(同上) バッテリーの残量が少ないの でまもなく出力停止。	ご使用の接続機器を終了処理し た後、接続機器を停止してくだ さい。
7	BE	なし	なし	OFF	OFF 放電中	バッテリーの残量がなくなった ため出力停止。	バッテリーを充電してください。
8	HH	なし	なし	OFF	(ON)	AC 入力異常(オーバー)。 電圧が高い時: 左桁のみ点 滅。 周波数が高い時: 右桁のみ 点滅 電圧・周波数ともに高い時: 両方点滅。	仕様に記載されている AC 入力 電圧・周波数の範囲にて使用し てください。
9	LL	なし	なし	OFF	(ON)	AC 入力異常(アンダー)。 電圧が低い時: 左桁のみ点 滅。 周波数が低い時: 右桁のみ 点滅。 電圧・周波数ともに低い時: 両方点滅。	
10	OL		断続 0.5 秒 間隔	ON	ON または 放電中	接続機器が多過ぎて定格容 量を超えています。 この状態が一定時間以上続 くと出力停止。	接続機器を減らしてください。
11	EO		連続	OFF	ON または 放電中	接続容量オーバーにより出力 停止。	本機と接続機器の電源スイッ チをすべて切り、接続機器を減ら した後、本機と接続機器の「電源」 ボタンを入れてください。
12	ES		連続	OFF	ON または 放電中	出力が短絡したため出力停 止。	接続機器の AC 入力が短絡して いないか、接続容量が定格容量 を超えていないか、確認してくだ さい。
13	EE		連続	ON	—	動作異常または故障発生。	本機と接続機器の電源スイッ チをすべて切り、本機の「電源」ボ タンのみ再度入れてください。表 示の内容が変わらない場合は、 本機に異常がありますので修理 をお申込みください。表示内容 が変わる場合は接続機器との組 合せによることが考えられます。 ご不明点がある場合は電子機 器カスタマサポートセンターにご連 絡ください。
14	E1		連続	OFF	—	出力電圧が異常(オーバー) のため停止。	
15	E2		連続	OFF	—	出力電圧が異常(アンダー) のため停止。	

3 ブザー音・表示の見方

3-2 ブザー音・表示の見方

○:点灯 ●:消灯 ◡:点滅

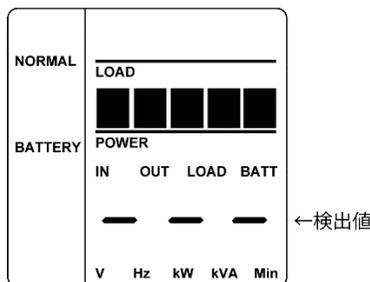
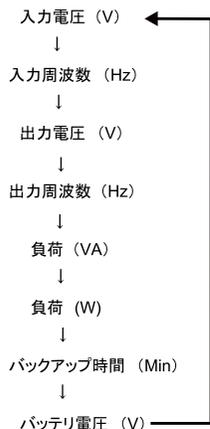
No.	状態表示	状態表示アイコン	ブザー	出力	充電	説明	対処方法
16	E3		ON	OFF	—	バッテリーの充電電圧が異常(オーバー)のため充電停止。	本機に異常が考えられますので修理をお申込みください。
17	E4		ON	OFF	—	バッテリーの充電電圧が異常(アンダー)のため充電停止。	
18	E6		ON	OFF	—	内部温度に異常が発生しました。	UPSの周囲温度が高くなったことが発生原因として考えられます。UPSの周囲温度を確認してください。40℃を超えている場合は、周囲温度を下げてください。本器と接続機器の電源スイッチをすべて切り、本機の「電源」ボタンのみ再度入れてください。40℃以下の場合には本機の異常が考えられますので修理をお申込みください。
19	E9	なし	連続	ON	—	内部通信に異常が発生しました。	本器と接続機器の電源スイッチをすべて切り、本機の「電源」ボタンのみ再度入れてください。表示内容が変わらない場合は、本機の異常が考えられますので修理をお申込みください。
20	EoB		断続 1秒 間隔	ON	OFF	バッテリー温度に異常が発生しました。	本器と接続機器の電源スイッチをすべて切り、本機の「電源」ボタンのみ再度入れてください。表示内容が変わらない場合は、本機の異常が考えられますので修理をお申込みください。
21	EoU		連続	ON	OFF	UPSの製品寿命が経過しています。	UPSを交換してください。
22	On		断続 2秒 間隔	ON	ON	バッテリーの劣化または未接続が検出されました。(警報のみ・出力継続)	バッテリーを接続する、またはバッテリーを交換してください。別売の交換バッテリーをお求めになればお客様で交換できます。
23	H5		なし	OFF	ON	バッテリーが充電不足のため待機中です。	バッテリー充電中ですので、起動するまで充電を継続してください。

※1 出力電圧が表示されます。

※2 バックアップ目安時間が表示されます。

状態表示は、「選択」ボタン(0.2秒以上押します)で各検出値の表示と切り替えられます。

検出値は以下のように遷移します。



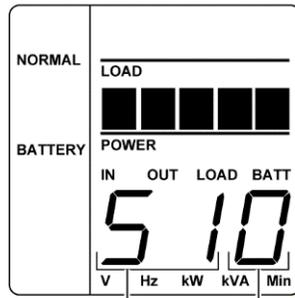
■ 設定画面の見方と設定方法

この操作は、電源 ON/OFF 時どちらでも可能です。

1. 「ブザー停止／決定」ボタンと「選択」ボタンを同時に押すと設定画面に切り替わります（ブザーが鳴ります）。
2. 「選択」ボタンを 0.2 秒以上押して、設定したい設定項目を選択します。
3. 設定項目を選択し、「選択」ボタンを 2～3 秒押すと、設定項目と設定値が点灯から点滅に変わります（点滅しないときは、もう一度手順 2 から行ってください）。
4. 「選択」ボタンを押すと、設定値を変更できます。
5. 「ブザー停止／決定」ボタンを 1 秒程度押して、設定を確定します。
点滅から点灯に変わります（点灯しないときは、もう一度手順 4 から行ってください）。
6. 「ブザー停止／決定」ボタンと「選択」ボタンを同時に押して、通常画面に戻ります（ブザーが鳴ります）。

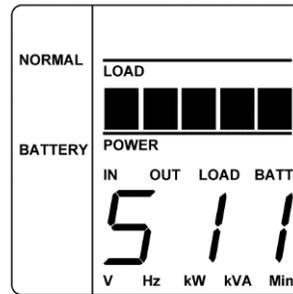
（例）ブザー設定画面

ブザー無効



設定項目 設定値

ブザー有効



3 ブザー音・表示の見方

3-2 ブザー音・表示の見方

■設定項目と設定値一覧

設定項目	設定内容	設定値
51	ブザー	0: 無効 1: 有効(製品出荷時設定)
52	自動再起動	0: 無効 1: 有効(製品出荷時設定)
53	自己診断テスト	0: 無効 1: 有効(製品出荷時設定)
55	入力電圧感度	1.2: 標準感度 (製品出荷時設定 : 1) 3: 高感度
57	コールドスタート	0: 無効(製品出荷時設定) 1: 有効
58	バッテリー寿命カウンタ	0: 無効 1: 有効(製品出荷時設定)
59	電源ボタンシャットダウン	0: UPS シャットダウン (製品出荷時設定) 1: UPS+PC シャットダウン
5C	再起動レベル	0~9: 0%~90% 0: (製品出荷時設定)
5J	最大バックアップ時間	.1~9: 0.1~9 分 ※ (製品出荷時は 0 秒)
5L	LCD 自動オフ	0: 常時 ON(製品出荷時設定) 1: 30 秒後 OFF 2: 3 分後 OFF
C00	自己診断テスト(手動)	自己診断テストを実行します。
C01	バッテリー寿命カウンタリセット	バッテリー寿命カウンタをリセットします。

※設定範囲

ピリオドあり SJ.1~SJ.9 は 6 秒単位で、54 秒まで設定可能

ピリオドなし SJ1~SJ9 は 1 分単位で 9 分まで設定可能

設定ユーティリティにより、10 秒~59 秒は 1 秒単位、最大 9999 分まで設定可能です。

4 本機の機能について

4-1 ブザー音を一時停止する

ブザー鳴動時に「ブザー停止/決定」ボタンを押すとブザーが一時停止します。

4-2 自己診断テストの説明

このテストでは本機の故障診断、バッテリー劣化の簡易テストを行います。
下記手順にて本機内部の回路故障、バッテリー交換の要否が確認できます。

バッテリーの充電が完了していない場合は、自己診断テストはすぐには実行されません。
充電完了後、自動的に実施されます。

1. 本機にパソコンなどの機器を接続した後、本機の「電源」ボタンを押します。
2. 自動で自己診断テストが開始されます。
テストのためにバックアップ運転に移行します(ブザーは鳴りません)。
約 10 秒間のテストが終了すると、自動的に通常運転状態に戻ります。
3. 「状態表示」が点滅表示/バッテリー交換アイコンが点滅したり、ブザーが鳴動した場合
「3-2 ブザー音・表示の見方」の対処方法にしたがって処置を行ってください。

自己診断テストを手動で行う場合

1. 「ブザー停止/決定」ボタンと「選択」ボタンを同時に押すとブザーが「ピー」(連続音)と鳴り設定画面になります。
2. 「選択」ボタンを押すと、設定項目が「S11」「S21」・・・「C00」と切り変わっていきます。
3. 「C00」を選択し「選択」ボタンを長押しすると「C00」が点滅します。
次に「ブザー停止/決定」ボタンを押すと自己診断テストを開始し「FU」と表示されます。
4. テストが正常に終了すると「C00」の点滅が終わり、自己診断テストが完了します。
5. [ブザー停止/決定]ボタンと[選択]ボタンを同時に押します。
ブザーが「ピー」(連続音)と鳴り通常画面に戻ります。

4-3 UPS 設定ユーティリティソフトについて

UPS 設定ユーティリティは、UPS の各種設定を簡単に行うためのソフトウェアです。
(使用例) 停電時、シャットダウンソフトを使用せずに UPS を停止させる。
→「最大バックアップ時間設定」で設定する。

【設定可能項目】

- (1) ブザー完全停止
- (2) 電圧感度モード設定
- (3) コールドスタート設定
- (4) 最大バックアップ時間設定
- (5) 自己診断テスト自動実行
- (6) 起動遅延時間設定
- (7) 起動バッテリー充電容量設定

詳しくは UPS 設定ユーティリティソフトおよび UPS 設定ユーティリティソフト取扱説明書をご覧ください。

UPS 設定ユーティリティソフトおよび UPS 設定ユーティリティソフト取扱説明書は当社ホームページ(https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/support/download/ups.html)からダウンロードできます。

5 バックアップ時間を測定する

5-1 バックアップ時間の測定方法

1. 本機の「AC入力」プラグを電源コンセント(商用電源)に接続し、12時間以上充電します。
2. すべての接続機器の電源を入れます。
パソコンのサービスコンセントに接続されている機器の電源も入れます。
※接続機器の電源が途中で停止しても支障のない状態で運転してください。
3. 本機の「AC入力」プラグを抜き、バックアップ時間を測定します。
プラグを抜いた状態で本機が自動的に停止し、表示がすべて消えるまでの時間を測定します。

ご購入後、はじめて測定したバックアップ時間が「バックアップ時間の初期値」となります。

5-2 バックアップ時間の目安

バックアップ時間は接続機器の容量により変化します。

接続機器の総容量を計算した後、バックアップ時間のグラフを参照し、バックアップ時間初期値の目安にします(バッテリーの点検をする際も同様です)。

1. 接続機器の総容量(消費電力)を、W(ワット)に統一します。
接続機器の容量はパソコン本体やディスプレイ裏面の表示で確認してください。
表示方法としては、VA(ボルト・アンペア)表示、A(アンペア)表示、W(ワット)表示の3種類があります。

- 例 1) AC100V, 50/60Hz, 145W
例 2) AC100V, 50/60Hz, 1.8A
例 3) AC100V, 50/60Hz, 150VA

表記	値
VA	$W=VA \times \text{力率}$
A	$W=A \times 100V \times \text{力率}$

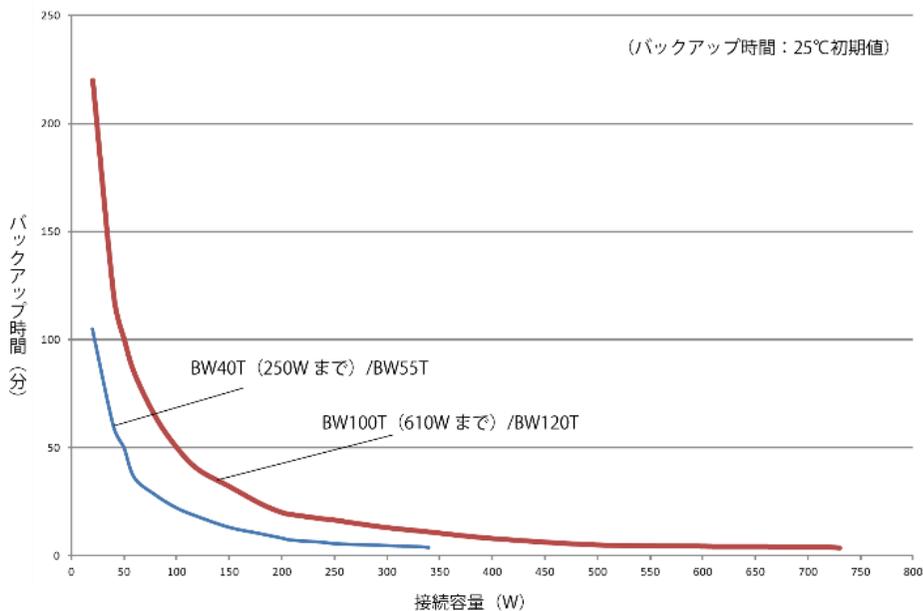
VA、Aと表記されている機器の場合はWに換算してください。換算方法は機器の表記に上表の値を掛けて算出します。

力率が不明な場合は“1”とします。通常、力率は0.6～1の間の値です。

5 バックアップ時間を測定する

5-2 バックアップ時間の目安

2. WIに換算した値を合計して、接続機器の総容量を求めます。
バックアップ時間のめやす



バックアップ時間表

負荷 / 型式	20	40	50	60	80	100	120	150	180	200	210	240	250	270	300	330	340	400	500	600	610	700	720	730
BW40T	105	60	50	36	28	22	18	13	10	8	7	6	5.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BW55T	105	60	50	36	28	22	18	13	10	8	7	6	5.4	5	4.5	4	3.6	-	-	-	-	-	-	-
BW100T	220	120	100	84	64	50	40	32	24	20	19	17	16.5	15	13	11.5	11	8	5	4.5	4.3	-	-	-
BW120T	220	120	100	84	64	50	40	32	24	20	19	17	16.5	15	13	11.5	11	8	5	4.5	4.3	4.2	4	3.6

※本バックアップ時間は、あくまでも参考値となります。

※バッテリーの寿命および外部環境(温度など)によって変わります。

※LCD 上のバックアップ目安時間表示の最大値は 99.9 分です。

6 接点入出力機能

本機は、USB/接点ポートを接点信号入出力として使用できます。

接点信号入出力として使用する場合は、別売の接点信号ケーブル(型式:BUC31)を使用します。

※USBとして使用する場合は、付属のUSBケーブルをご使用ください。

6-1 信号入出力の種類

本機は以下の信号入力、4種類の信号出力を持っています。

出力回路はフォトカプラを使用した無電圧出力のオープンコレクタ回路(一種の電子スイッチ)になっています。

信号	機能
バックアップ停止信号入力(BS)	UPSの出力を停止させるための入力信号です。
バックアップ信号出力(BU)	停電中は継続してONになります。
トラブル信号出力(TR)	本機に異常が発生したときにONになります。
バッテリー交換信号出力(WB)	バッテリーが劣化し、交換が必要なことを自己診断テストで検出したとき、またはバッテリー寿命カウンタがカウントアップしたときにONになります。

6-2 USB/接点ポートのピン配置

●接点ポートのピン配置と信号名称

IO	信号名称	接点ポート
IO	USB D+/接点信号として使用しない	1
IO	USB D-/接点信号として使用しない	2
O	バックアップ信号出力(BU)※	3
—	COMMON(COM)	4
I	USB-Vbus/接点信号として使用しない	5
I	バックアップ停止信号入力(BS)	6
O	トラブル信号出力(TR)※	7
O	バッテリー交換信号出力(WB)※	8

※工場出荷時設定。設定ユーティリティにより、出力信号の組み合わせ変更、バッテリーLOW信号出力(BL)の割り付けが可能です。また、バックアップ停止信号(BS)による出力停止までの時間設定が可能です。設定ユーティリティは当社ホームページより無償でダウンロードしていただけます。

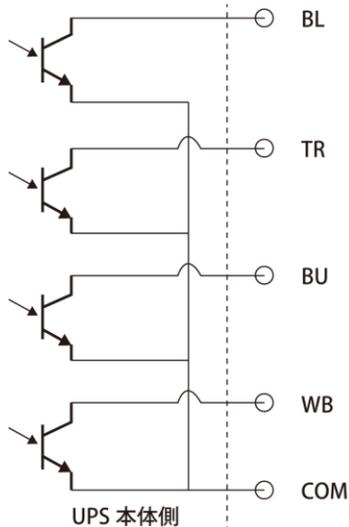
注:使用しない信号ケーブルへの処置について

誤動作防止のため、使用しない信号線に対し、被服剥ぎ部(導電部露出部)を切断する、絶縁するなど、他信号との接触防止を行ってください。

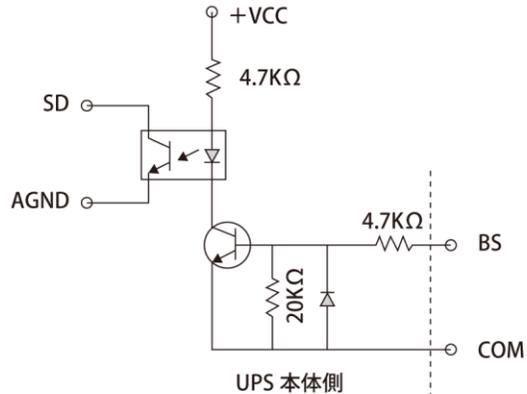
◆ 信号端子仕様 ◆

信号出力 (BU/BL/TR/WB)	信号の種類	フォトカプラによる絶縁出力
	定格	電圧:35V 以下 最大電流:50mA
バックアップ停止信号入力 (BS)	信号条件	入力電圧:5V~15V
	入力部回路	フォトカプラによる絶縁入力

信号出力回路 (参考)



バックアップ停止信号入力回路 (参考)



お願い

信号出力回路にリレーなど逆起電力の発生する機器を接続する場合は、逆起電力を防止するダイオードをリレーの両端に付けてください。

プラスコモン接続で使用することはできません。本製品および接続機器が故障するおそれがあります。ご使用される場合、お客様にて交換ケーブルを作成してください。

7 保守・点検について

7-1 バッテリーの点検

7 保守・点検について

警告

接続機器の保守を行う場合は、必ず本機の「電源」ボタンを切り、「AC入力」プラグを抜いた状態で行うこと。

- 本機の電源出力は、本機が運転状態のとき「AC入力」プラグを抜いても出力は停止せず、コンセントから電力が供給されます。



バッテリー接続コネクタに金属物を挿入しないこと。

- 感電するおそれがあります。



注意(保守時)

分解、修理、改造しないこと。

- 感電したり、火災を起こす危険があります。



内部から液体(希硫酸)が漏れたら、液体にさわらないこと。

- 失明したり、やけどをするおそれがあります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



本機を火の中に投棄しないこと。

- バッテリーを内蔵していますので、バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。



本機の「電源出力」コンセントに金属物を挿入しないこと。

- 感電するおそれがあります。



7-1 バッテリーの点検

本機に使用しているバッテリーは寿命があります。
保存／使用環境・バックアップの頻度によって寿命は変わります。
寿命末期に近づくほど急速に劣化が進みますのでご注意ください。

7-1-1 バッテリーの寿命(交換時期の目安)

周囲温度	バッテリー寿命
25°C	5 年
30°C	3.5 年
40°C	1.7 年

7-1-2 バッテリーの点検方法

バッテリーの点検方法は 2 種類あります。

- ・自己診断テストを行う(4-2 「自己診断テストの説明」参照)。
- ・バックアップ時間を測定する(5-1 「バックアップ時間の測定方法」参照)。
バックアップ時間を測定すると、より正確にバッテリー寿命を判定することができます。

測定した値が「バックアップ時間の初期値」の半分以下になった場合はバッテリーを交換してください。

※お客様で測定された「バックアップ時間の初期値」と現在のバックアップ時間を比較される場合、本機に接続する機器の初期値を測定した時と同一の容量にしないと正確に判定できません。

7-1-3 バッテリー点検(バックアップ時間の測定)の目安、頻度

周囲温度	6 か月ごとの点検	1 か月ごとの点検
25℃	購入時から 3 年まで	3 年以降
30℃	購入時から 1.5 年まで	1.5 年以降

※バッテリーは保管状態でも劣化が進行します。高温になるほど寿命は急速に短くなります。

7-2 バッテリーの交換

本機が運転停止(電源出力停止)状態や、運転中(電源出力中)のどちらでもバッテリーの交換ができます。

⚠ 注意

本機を UL 規格適合品としてご使用される場合は、運転(電源出力中)状態でのバッテリーの交換はしないでください。運転状態でのバッテリーの交換機能は UL 規格に適合していません。かならず本機の運転を停止してバッテリーを交換してください。

- ※ 停止状態で交換される場合は、接続機器を停止し、本機の「電源」ボタンを切り、「AC 入力」プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ※ 運転状態でのバッテリー交換中に停電などの入力電源異常が発生した場合、バックアップできず出力が停止します。
- ※ バックアップ運転中にバッテリー交換をしないでください。出力が停止します。

7 保守・点検について

7-2 バッテリーの交換



警告

当社指定の交換バッテリー以外は使用しないこと。

- 指定以外の交換バッテリーの使用は、本機の故障、または発煙・発火のおそれがあります。
- 同じ種類、同じ数のバッテリーパックに交換してください。
- 商品型式： BW40T/BW55T 交換用バッテリーパック: BWB55T 1個
BW100T/BW120T 交換用バッテリーパック: BWB120T 1個



注意(バッテリー交換時)

交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。

- バッテリーは落下しないよう、しっかりと保持してください。
- 落下によるけが、液漏れ(希硫酸)による失明ややけどの危険があります。



可燃性ガスがある場所でバッテリー交換をしないこと。

- バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になるおそれがあります。



バッテリーから液漏れがあるときは液体(希硫酸)に触らないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



バッテリーの分解、改造をしないこと。

- 希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどのおそれがあります。



バッテリーを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

- 希硫酸が漏れたりすることがあります。



バッテリーを金属物でショートさせないこと。

- 感電、発火、やけどのおそれがあります。
- 使用済みバッテリーでも内部に電気エネルギーが残っています。



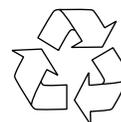
バッテリーを火の中に投げ入れたり、破壊したりしないこと。

- バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。



- この製品には、鉛バッテリーを使用しています。

鉛バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。
リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。



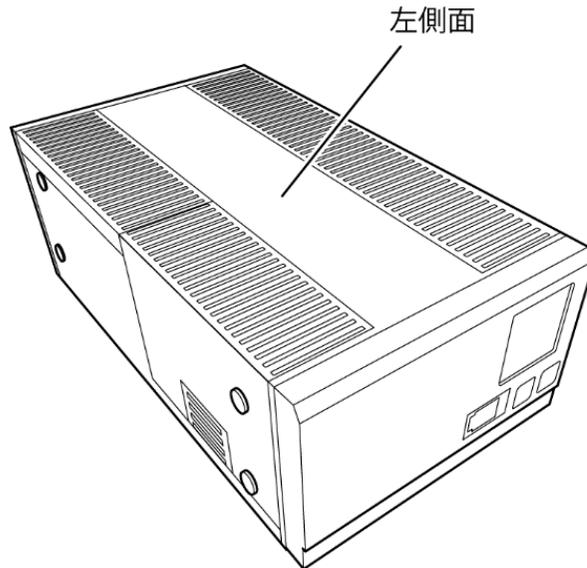
Pb

7-2-1 バッテリーの交換方法

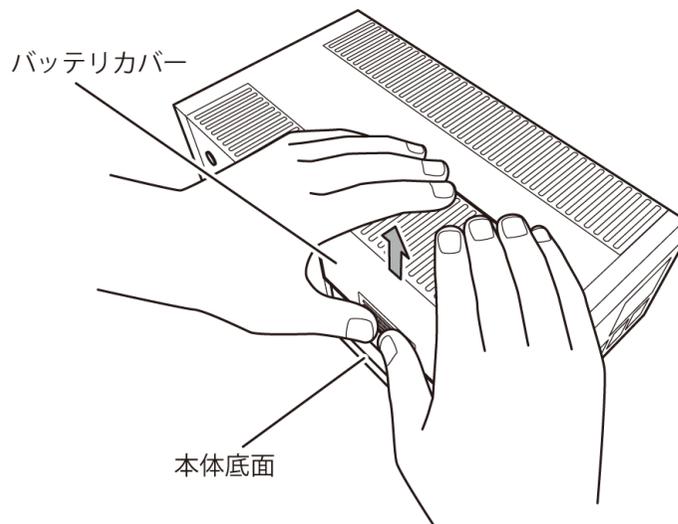
■BW40T/BW55T

※本体が滑って落下しないように、十分注意して作業してください。

1. 本体左側面が上になるようにゆっくり倒します。



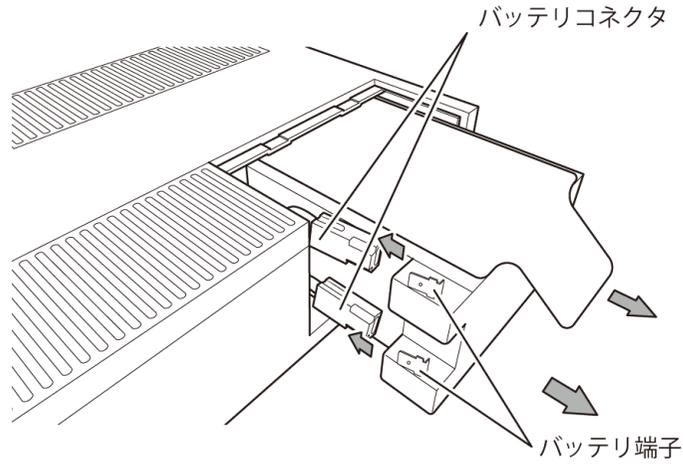
2. バッテリーケースに両手を添えて、ケース下端のツメを指で軽く押しながら引き上げて取り外します。



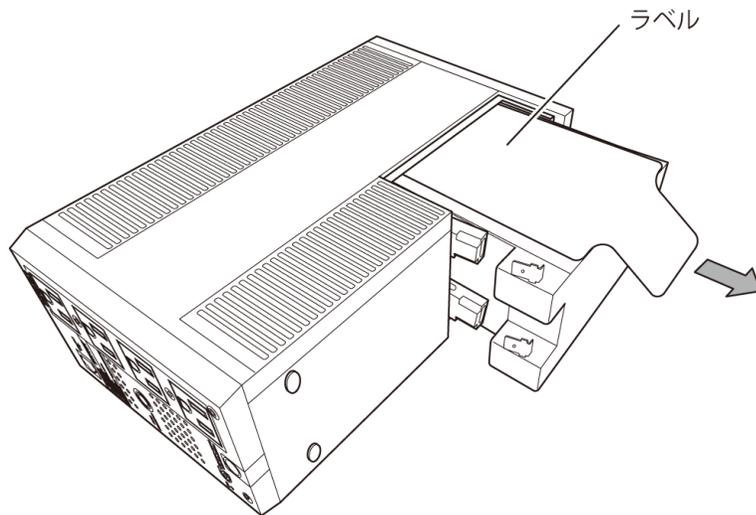
7 保守・点検について

7-2 バッテリーの交換

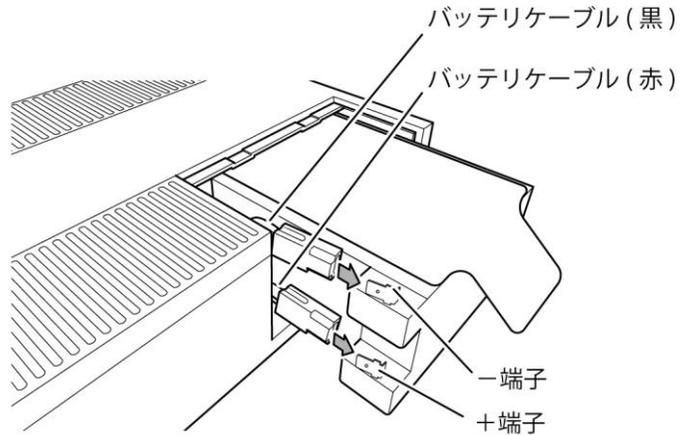
3. 右手でバッテリーを持ち、左手でバッテリーケーブル(赤)を掴んでバッテリーから引き抜きます。
※固くて抜けにくい時は、コネクタ部分を上下に揺らしながら引き抜いてください。
続いて、バッテリーケーブル(黒)を掴んでバッテリーから引き抜きます。



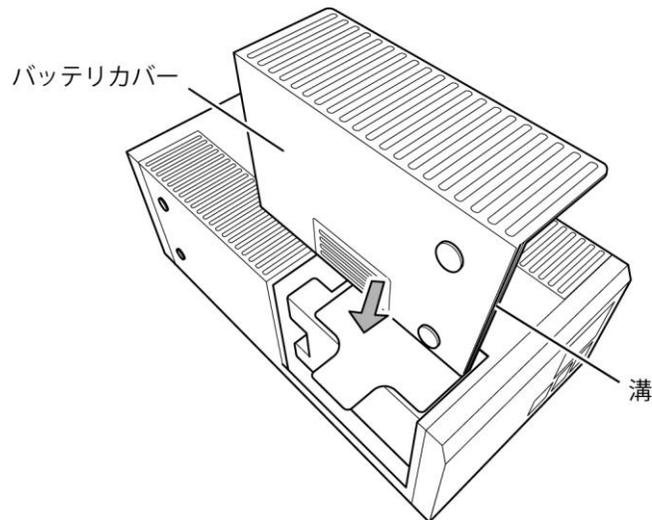
4. ラベルを持ってバッテリーを取り出します。
落とさないよう注意しながら両手でバッテリーを取り出します。



5. 2本のバッテリーケーブルのコネクタを、カチッと止まるまで差し込みます。
 右手でバッテリーを持ち、左手でバッテリーケーブル(赤)のコネクタを+端子に差し込みます。
 続いて、バッテリーケーブル(黒)のコネクタを-端子に差し込みます。
 ●交換用バッテリーパック
 BW40T/BW55T 用: 型式名 BWB55T



6. バッテリーカバーの溝を本体に合わせてスライドさせて取り付けます。



7. バッテリー寿命カウンタのリセットを行います。
 ※バッテリー寿命カウンタのリセット方法は、次のページをご参照ください。

7 保守・点検について

7-2 バッテリーの交換



バッテリー交換後は、必ずバッテリー寿命カウンタのリセットを行ってください。
バッテリー寿命カウンタのリセットを行わなかった場合、バッテリーの期待寿命より早く
バッテリー劣化アラームが発生してしまうおそれがあります。

<「AC 入力プラグ」を電源コンセントに接続した状態で交換した場合>

1. [ブザー停止 / 決定] ボタンと [選択] ボタンを同時に押します。(長押し1～2 秒程度)
ブザーが「ピー(連続音)」と鳴ったら指をボタンから離します。
2. 画面が【S11】表示に切り替わることを確認します。
3. [選択] ボタンを押し(長押し1～2秒程度)、指をボタンから離す度に画面表示を切り替えます。
4. [選択] ボタンを押し、【C00】が点灯表示されるまで操作してください。

【C00】: 自己診断テスト(手動)

表示順 : 【S11】→【S21】→【S31】→【S51】→【S70】→【S81】→【S90】→【SC0】→【SJ.0】→
【SL0】→【C00】→【C01】(→【S11】に戻る)

5. 【C00】点灯表示状態で [選択] ボタンを押し(長押し5秒程度)、指をボタンから離します。
暫くすると【C00】が点滅表示に切り替わります。
6. [ブザー停止/決定] ボタンを押します。(長押し1～2 秒程度)
ブザーが「ピー(連続音)」と鳴ったら指をボタンから離します。
画面表示が【FU】(自己診断テスト中)から【C00】へ切り替わります。

以上で自己診断テスト完了です。

次項よりバッテリー寿命カウンタリセット操作を行います。

7. [選択] ボタンを押し(長押し1～2秒程度)、指をボタンから離す度に画面表示を切替えます。
8. [選択] ボタンを押し、【C01】が点灯表示されるまで操作してください。

【C01】: バッテリー寿命カウンタリセット

表示順 : 【S11】→【S21】→【S31】→【S51】→【S70】→【S81】→【S90】→【SC0】→【SJ.0】→
【SL0】→【C00】→【C01】(→【S11】に戻る)

9. 【C01】点灯表示状態で [選択] ボタンを押し(長押し5秒程度)、指をボタンから離します。
暫くすると【C01】が点滅表示に切り替わります。
10. [ブザー停止/決定] ボタンを押します。(長押し1～2 秒程度)
ブザーが「ピー(連続音)」と鳴ったら指をボタンから離します。
画面が【C01】点灯表示へ切り替わります。

以上でバッテリー寿命カウンタリセット完了です。

11. [ブザー停止/決定] ボタンと [選択] ボタンを同時に押します。(長押し1～2 秒程度)
ブザーが「ピー(連続音)」と鳴ったら指をボタンから離します。
画面が通常表示に切り替わることを確認します。

以上でバッテリー交換後の操作は終了です。

<「AC 入力プラグ」を電源コンセントに接続した状態で交換した場合>

「AC 入力プラグ」を電源コンセントに接続し、上記の手順 1、2、7～11 の操作を行ってください。

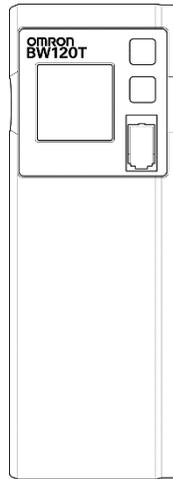


交換バッテリーパックに付属しているバッテリー交換日シールにバッテリー交換日を記入して見える所に貼り付けてください。

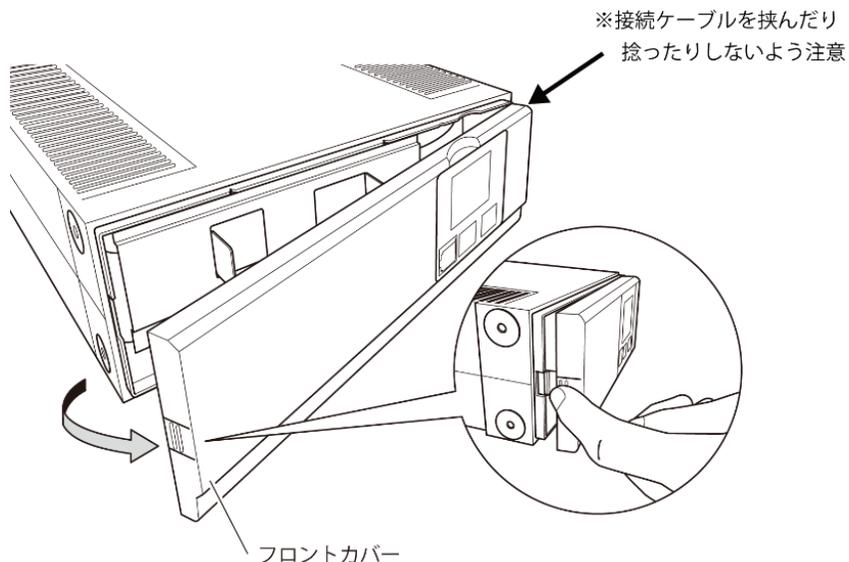
■BW100T/BW120T

※本体が滑って落下しないように、十分注意して作業してください。

1. 本体左側面が上になるようにゆっくり倒します。



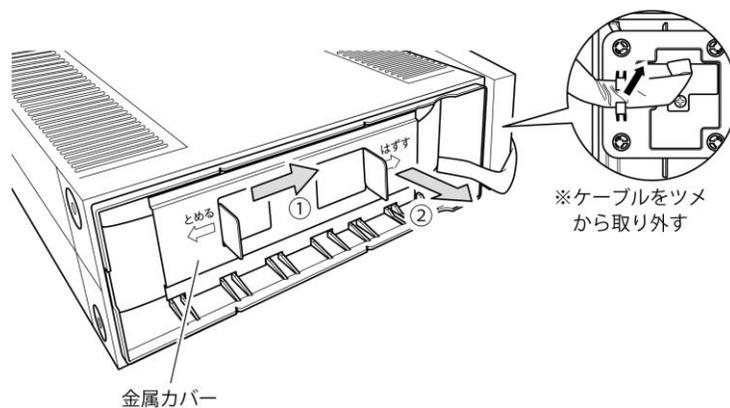
2. フロントパネル下部の爪を軽く押しながら、フロントパネルを手前に強く引いて取り外します。
※フロントパネルを外した際は、コードを振ったり、バッテリーで挟まないように注意してください。断線するおそれがあります。



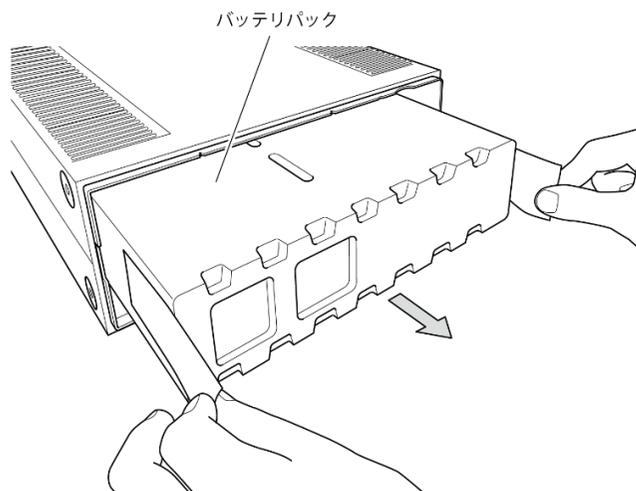
7 保守・点検について

7-2 バッテリーの交換

- 3.** 金属カバーの突起部を持って右にスライドし(①)、手前に引いて外します(②)。
※フロントパネルを横に置く場合は、ケーブルをパネルのツメから取り外してください。

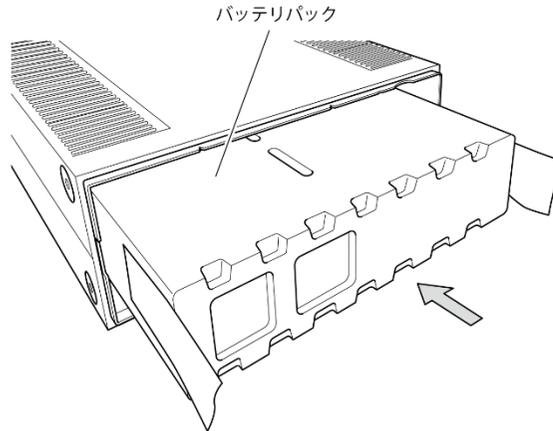


- 4.** バッテリーパックを両サイドにあるテープを持って引き出します。

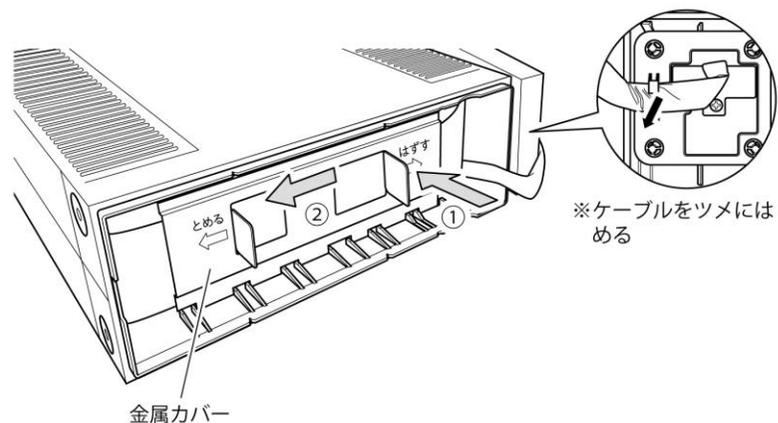


5. 新しいバッテリーパックを挿入します。奥までしっかりと押し込むと、バッテリーパック背面のコネクタが本体に接続されます。
- 交換用バッテリーパック
- BW100T/BW120T 用: 型式名 BWB120T

コネクタ接続時に”パチッ”と音がすることがありますが異常ではありません。



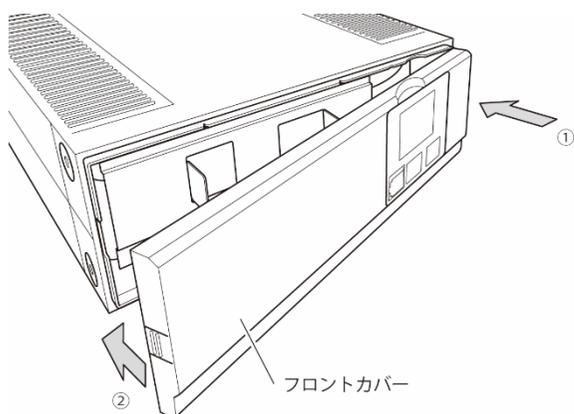
6. 金属カバーを本体にはめて①左にスライドさせて固定します②。
※ケーブルをフロントパネルのツメから取り外している場合は、ケーブルをツメにはめ込んでください。



7 保守・点検について

7-2 バッテリーの交換

7. フロントカバーの右側を本体にはめ(①)、左側を押し込んで本体に固定します(②)。



8. バッテリー寿命カウンタのリセットを行います。



バッテリー交換後は、必ずバッテリー寿命カウンタのリセットを行ってください。
バッテリー寿命カウンタのリセットを行わなかった場合、バッテリーの期待寿命より早く
バッテリー劣化アラームが発生してしまうおそれがあります。

<「AC 入カプラグ」を電源コンセントに接続した状態で交換した場合>

1. [ブザー停止 / 決定] ボタンと [選択] ボタンを同時に押します。(長押し1~2 秒程度)
ブザーが「ピー(連続音)」と鳴ったら指をボタンから離します。
2. 画面が【S11】表示に切り替わることを確認します。
3. [選択] ボタンを押し(長押し1~2秒程度)、指をボタンから離す度に画面表示を切り替えます。
4. [選択] ボタンを押し、【C00】が点灯表示されるまで操作してください。
【C00】: 自己診断テスト(手動)
表示順 : 【S11】→【S21】→【S31】→【S51】→【S70】→【S81】→【S90】→【SC0】→【SJ.0】→
【SL0】→【C00】→【C01】(→【S11】に戻る)
5. 【C00】点灯表示状態で [選択] ボタンを押し(長押し5秒程度)、指をボタンから離します。
暫くすると【C00】が点滅表示に切り替わります。
6. [ブザー停止/決定] ボタンを押します。(長押し1~2 秒程度)
ブザーが「ピー(連続音)」と鳴ったら指をボタンから離します。
画面表示が【FU】(自己診断テスト中)から【C00】へ切り替わります。
以上で自己診断テスト完了です。
次項よりバッテリー寿命カウンタリセット操作を行います。
7. [選択] ボタンを押し(長押し1~2秒程度)、指をボタンから離す度に画面表示を切替えます。

8. [選択]ボタンを押し、【C01】が点灯表示されるまで操作してください。

【C01】: バッテリー寿命カウンタリセット

表示順 : 【S11】→【S21】→【S31】→【S51】→【S70】→【S81】→【S90】→【SC0】→【SJ.0】→
【SL0】→【C00】→【C01】(→【S11】に戻る)

9. 【C01】点灯表示状態で[選択]ボタンを押し(長押し5秒程度)、指をボタンから離します。
暫くすると【C01】が点滅表示に切り替わります。

10. [ブザー停止/決定]ボタンを押します。(長押し1~2秒程度)
ブザーが「ピー(連続音)」と鳴ったら指をボタンから離します。
画面が【C01】点灯表示へ切り替わります。

以上でバッテリー寿命カウンタリセット完了です。

11. [ブザー停止/決定]ボタンと[選択]ボタンを同時に押します。(長押し1~2秒程度)
ブザーが「ピー(連続音)」と鳴ったら指をボタンから離します。
画面が通常表示に切り替わることを確認します。

以上でバッテリー交換後の操作は終了です。

<「AC 入力プラグ」を電源コンセントに接続した状態で交換した場合>

「AC 入力プラグ」を電源コンセントに接続し、上記の手順 1、2、7~11 の操作を行ってください。



交換バッテリーパックに付属しているバッテリー交換日シールにバッテリー交換日を記入して見える所に貼り付けてください。

7-3 本体のお手入れ方法

1. 本機の汚れを落とす
柔らかい布に水または洗剤を含ませ固く絞り、軽く拭いてください。
シンナー、ベンジンなどの薬品は使用しないでください。変形、変色の原因になります。
2. 本機の「AC入力」プラグ、「電源出力」コンセントのほこりを取り除く
接続機器および本機をすべて停止し「AC入力」プラグを、電源コンセント(商用電源)から抜いてください。
その後乾いた布でほこりをはらい、再度接続を行ってください。
 機器の接続方法は「2-2 機器の接続方法」

8 自動シャットダウンソフトを使用する

自動シャットダウンソフトを使用する場合は、以下の接続、設定を行ってください。

8-1 自動シャットダウンソフトの概要

自動シャットダウンソフトとは UPS が入力電圧異常(停電など)を検知した時に、接続されたコンピュータに終了処理などの制御を行うためのソフトウェアです。

用途に応じて必要なソフトを当社ホームページ

(https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/product/soft/soft.html)

からダウンロードしてご使用ください。OS の対応状況は、下表をご参照ください。

お願い

自動シャットダウンソフトによるスケジュール運転中に、手動で運転開始する場合

- スケジュール運転によって停止している状態で本機を手動起動する場合は、「電源」スイッチをいったん切ってから、再度入れてください。逆に、スケジュール運転中に本機を手動停止する場合は、「電源」スイッチを切ります。

「OS シャットダウン後 UPS を自動停止する設定」にしている、自動シャットダウン処理実行中に復電した場合

- 停電が発生し、自動シャットダウン処理実行中に復電した場合でも、設定時間経過後に UPS の出力はいったん停止します。その場合は、復電により UPS の再起動が完了するまでは、パソコンの電源を入れしないでください。

8 自動シャットダウンソフトを使用する

8-1 自動シャットダウンソフトの概要

8-1-1 自動シャットダウンソフト対応状況

対応 OS	通信方式	シャットダウンソフト
Windows 10 Windows Server 2016 Windows Storage Server 2016 Windows 8.1 Windows 8 Windows Server 2012 R2 Windows Storage Server 2012 R2	シリアル (USB1.1)	PowerAttendant Lite
Windows Server 2012 Windows Storage Server 2012 Windows 7 Windows Vista (Ultimate/Business/Home Premium/Home Basic)		PowerAct Pro
Windows Server 2008 R2 Windows Storage Server 2008 R2 Windows Server 2008 Windows Storage Server 2008		Simple Shutdown Software*2
Windows Server2003 Windows Server2003 x64 Editions Windows XP Windows XP Professional x64 Edition	シリアル (USB1.1)	PowerAct Pro
		Simple Shutdown Software
Linux Cent OS Ver.7.x/Ver.6.x/Ver.5.x Red Hat Linux Ver.7.x/Ver.6.x/Ver.5.x Asianux Server 3	シリアル (USB1.1)	PowerAct Pro*1
		Simple Shutdown Software*1*4
macOS 10.12 Mac OS X v10.11/v10.10/v10.9/v10.8/v10.7/v10.6/v10.5	シリアル (USB1.1)	PowerAttendant Lite
Mac OS X Server v10.11/v10.10/v10.9/v10.8/v10.7/v10.6/v10.5	シリアル (USB1.1)	PowerAct Pro*3

*1 ファイルの自動保存はできません。

*2 Windows Storage Server 2008 R2/Windows Storage Server 2008 には対応していません。

*3 PowerPC 版には対応していません。Ver.4.7 で macOS 10.12/Mac OS X 10.11 および Mac OS X Server v10.11 をご利用になられる場合は、OS への設定が必要になります。

詳しくはホームページをご覧ください。

*4 Cent OS Ver.6.x、Red Hat Linux Ver.5.x、Asianux Server 3 には対応していません。

8-1-2 自動シャットダウンソフト機能一覧表

●標準対応 ○オプション対応 ▲一部制限あり

機能		ソフト名称	一般用途 (単機能、スタンドアローン)	ネットワーク管理用途 (高機能、ネットワーク対応)	
			Simple Shutdown Software	Power ActPro	Power AttendantLite
ソフト機能	自動シャットダウン		●	●	●
	UPS モニタリング (動作状態)		—	●	●
	UPS モニタリング (データ)		—	●	●
	ポップアップ通知		—	●	●
	OS を休止状態で終了*		—	●	●
	自動ファイル保存*		—	●	—
	スケジュール運転		—	●	●
	UPS の設定変更		—	●	●
	外部コマンド実行		●	●	●
	イベントログ保存		—	●	●
	データログ保存		—	●	●
	連携シャットダウン		—	●	●
	冗長電源対応		—	●	—
	リモートでの UPS 管理		—	●	●
	メール送信		—	●	—
	Telnet 接続		—	●	●
	SYSLOG 対応		—	●	—

この機能は Windows のみ使用可能です。Mac、Linux では使用できません。

8 自動シャットダウンソフトを使用する

8-1 自動シャットダウンソフトの概要

シャットダウンソフトでは、以下の機能が使用できます。

自動シャットダウン	電源異常発生時、パソコンを自動シャットダウンできます。
UPSモニタリング(動作状態)	UPSの動作状態(商用運転中/バックアップ運転中)をモニタリングできます。
UPSモニタリング(データ)	入出力電圧値、接続容量、バッテリー容量などのデータをモニタリングできます。
ポップアップ通知	停電などの異常発生時、ポップアップウィンドウで異常内容を通知します。
OSを休止状態で終了	パソコンを休止状態で終了できます。休止状態では終了時の作業状態を保持するため、作業内容が失われません。
自動ファイル保存	シャットダウン時に作業中のワード、エクセルなどのファイルを自動保存します。
スケジュール運転	UPSの停止/起動をスケジュール設定できます。
UPSの設定変更	UPSの設定(ブザーON/OFF設定など)を変更することができます。設定可能項目はUPSにより異なります。
外部コマンド実行	シャットダウン時に、コマンドを実行することで、アプリケーションプログラムなどを起動させることができます。
イベントログ保存	UPSで発生したイベント情報(電源異常、設定変更、故障発生など)をログ保存します。
データログ保存	入出力電圧値、接続容量などのデータを一定間隔(設定可能)でログ保存します。
連携シャットダウン	電源異常発生時、UPSに接続された複数台のパソコンを連携して自動シャットダウンできます。
冗長電源対応	冗長電源を搭載したパソコンに2台以上のUPSを接続することができます。電源異常が片方のみの時はシャットダウンを行わず、両方のUPSで電源異常が発生した時のみシャットダウンさせるので、システムの稼働率が向上します。
リモートでのUPS管理	ネットワーク上のパソコンからリモートでUPSを管理することができます。
メール送信	停電などの異常発生時、システム管理者にメールで異常内容を通知します。
Telnet接続	Telnet接続でシャットダウンパラメータなどの設定を行います。
SYSLOG対応	UPSの管理情報をSYSLOGで記録します。

8-2 自動シャットダウンソフトの使い方

8-2-1 PowerAct Pro

自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」を使用すると、停電時に自動的にパソコンの終了処理ができます。ネットワーク上の複数台のパソコンの終了処理が可能です。
またスケジュール設定によるバックアップ運転の自動起動、停止などもできます。



停電発生からパソコンの終了までの時間は「5-1 バックアップ時間の測定方法」で測定したバックアップ時間内に完了するようにしてください。

詳細は本ソフトウェアの取扱説明書をご確認ください。

8-2-2 Simple Shutdown Software

「Simple Shutdown Software」を使用すると、停電時にパソコンの終了処理ができます。

詳細は本ソフトウェア内の取扱説明書をご確認ください。

本ソフトウェアの取扱説明書は当社ホームページ

(https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/support/download/ups.html)
からダウンロードできます。

8 自動シャットダウンソフトを使用する

8-2 自動シャットダウンソフトの使い方

8-2-3 PowerAttendantLite について

「PowerAttendantLite」を使用すると、停電時に自動的にコンピュータの終了処理を行うことができます。

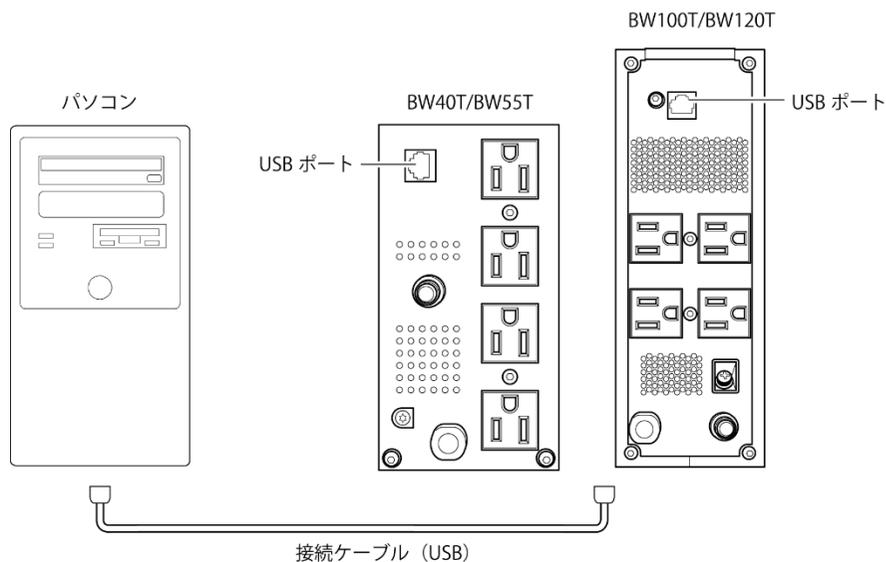
またスケジュール設定によるバックアップ運転の自動起動、停止などもできます。

詳細は、本ソフトウェアの取扱説明書をご確認ください。

本ソフトウェアの取扱説明書は当社ホームページ

(https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/support/download/ups.html) からダウンロードできます。

1. 本機とパソコンを接続します。
使用ケーブル: 付属の接続ケーブル (USB)



2. シャットダウンするパソコンに「PowerAct Pro」、「Simple Shutdown Software」または「PowerAttendantLite」をインストールします。
インストール方法: 本ソフトウェアの取扱説明書をご確認ください。
本ソフトウェアの取扱説明書は当社ホームページ
(https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/support/download/ups.html) からダウンロードできます。

8-2-4 自動シャットダウンソフトの設定

自動シャットダウンソフトによるスケジュール運転について

本機を停止すると同時にブレーカーなどを使用して商用電源を停止するスケジュール運転を行う場合、次の運転開始までの期間を3か月以内に設定してください。

3か月を超える場合、内部のタイマーがリセットされ、スケジュールによる運転開始は行いません。またバッテリーが寿命になると約半分になります。

3か月を超えた場合、商用電源を供給し「電源」ボタンを押すことで運転を開始します。

しかし、バッテリーが寿命となった場合、運転を開始できないことがあります。

この場合は、「7-2バッテリーの交換」に従いバッテリー交換を行ってください。

自動シャットダウンソフトによるスケジュール運転時の運転開始について

スケジュール運転によって本機が停止している状態で本機を手動で起動する場合には、

「電源」ボタンをいったんOFFして、再度ONしてください。

また運転中の本機を停止する場合は「電源」ボタンをOFFすることにより、停止します。

自動シャットダウンソフトによるOS終了処理後の自動再起動について

特定のパソコン(*1)にて、停電時に自動シャットダウンによるOSの終了処理完了直後にパソコンが自動的に再起動する現象が発生します。

この場合、パソコンの再起動中または起動後に本機が停止し、ファイルやハードディスクを破壊するおそれがあります。

この現象は、パソコンのBIOS設定内のPOWER MANAGEMENTをDisable(無効)にすることにより回避できます。

*1) 特定のパソコン: MICRON製Millennia Mmにてこの現象が確認されています。

OSシャットダウン後、「UPSを自動停止させる設定」にしている場合の注意事項

停電が発生し自動シャットダウン処理実行中に復電した場合でも、設定時間経過後にUPSの出力はいったん停止してしまいます。

シャットダウン処理終了後、UPSの再起動が完了するまでパソコンの電源を入れしないでください。

9 参考資料

9-1 仕様

9 参考資料

9-1 仕様

型式	BW40T	BW55T	BW100T	BW120T	
方式	運転方式	常時商用給電方式			
	冷却方式	自然空冷			
	接続可能機器	パソコン、ディスプレイ、および周辺機器			
入力	定格入力電圧	AC100V			
	起動電圧範囲および 入力電圧範囲	電圧標準感度設定 AC86±3~114V±3V 電圧高感度設定 AC95±3~108V±3V			
	入力周波数	50/60Hz±4Hz			
	最大電流	5.2A	7A	12.7A	15A
	相数	単相 2 線(アース付き)			
	入力プラグ形状	NEMA5-15P			
	入力保護	リセットタイプ過電流保護			
	入力保護容量	10A		15A	
出力	定格容量(ともに上限)※1	400VA/250W	550VA/340W	1000VA/610W	1200VA/730W
	出力電圧(商用運転時)	入力電圧スルー出力			
	出力電圧(バックアップ時)	AC100V±6%			
	出力周波数(商用運転時)	入力周波数スルー出力			
	出力周波数(バックアップ時)	50/60Hz±0.1Hz			
	相数	単相 2 線(アース付)			
	出力波形 (商用時/バックアップ時)	正弦波/正弦波			
	波形ひずみ率 (バックアップ時)	25%以下			
	出力コンセント	NEMA5-15R×4 個			
	切替時間	10msec 以内			
バッテリ	バックアップ時間 ※2	5.4 分以上	3.6 分以上	4.3 分以上	3.6 分以上
	バッテリー種類	小形制御弁式(シール)鉛蓄電池			
	バッテリー期待寿命	5 年(長寿命)※周囲温度 25℃の場合			
	バッテリー容量(V/Ah)/個数	DC12V/8.5Ah/1 個		DC12V/8.5Ah/2 個	
	充電時間	12 時間			
環境	動作周囲温度/湿度	0~40℃ / 25~85%RH(無結露)			
	保管周囲温度/湿度	-15~40℃ / 10~90%RH(バッテリー満充電、無結露で保管のこと)			
雷サージ保護機能	あり				
外形寸法(幅×奥行き×高さ) ※3	90×291×165mm			85×342×235mm	
本体質量	約 4.5kg			約 7.9kg	

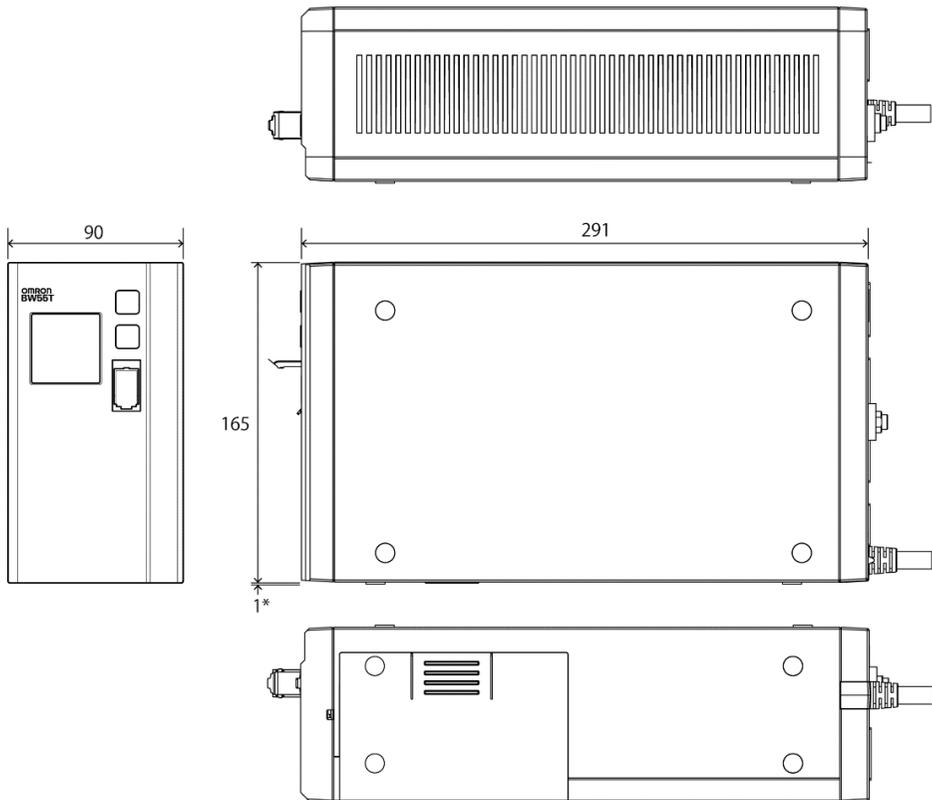
内部消費電力 通常時/最大時	10W/20W(無負荷時) 15W/25W(定格負荷時)	15W/35W(無負荷時) 30W/45W(定格負荷時)
通信インタフェース	USB/接点	
ノイズ規制	VCCI クラス B	
安全規格適合	UL1778	
騒音	40db 以下	

- ※1 本機に接続する負荷容量は、VA 値および W 値の両方が本規定を超えない範囲でご使用ください
 ※2 定格負荷接続時、25℃、初期特性
 ※3 高さにゴム足の高さは含みません

9-2 外形寸法図

単位: mm

<BW40T/BW55T>

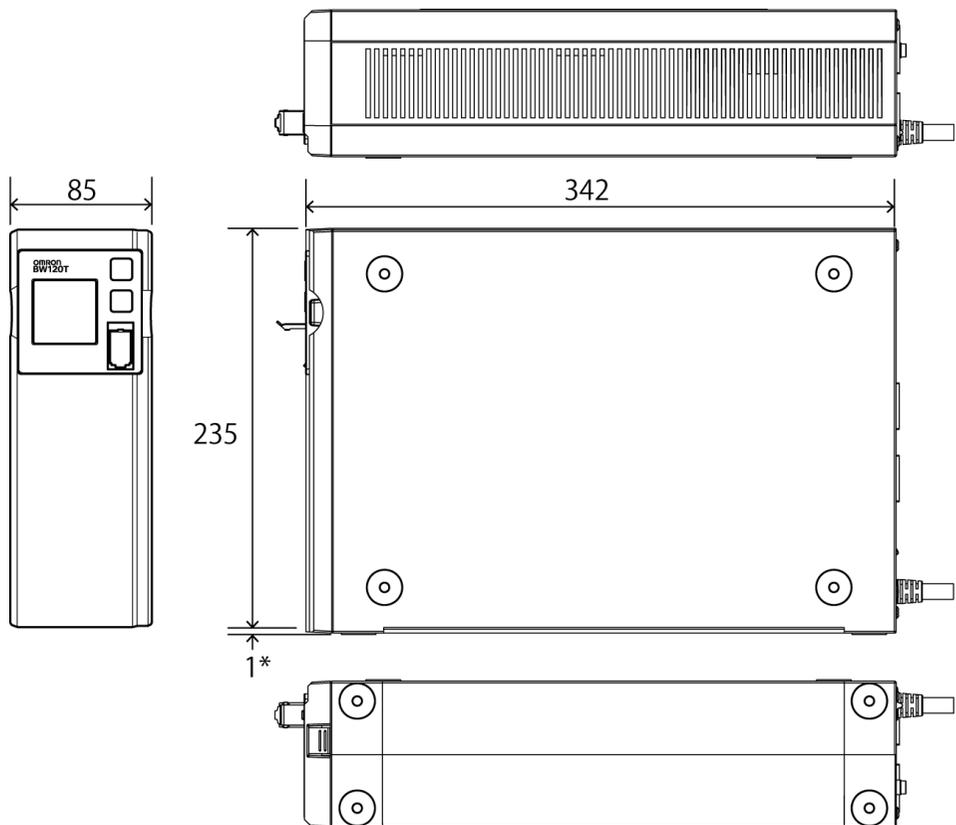


* ゴム足の厚みは 2mm ですが、本体にくぼみがあるため、高さは 1mm になります。

9 参考資料

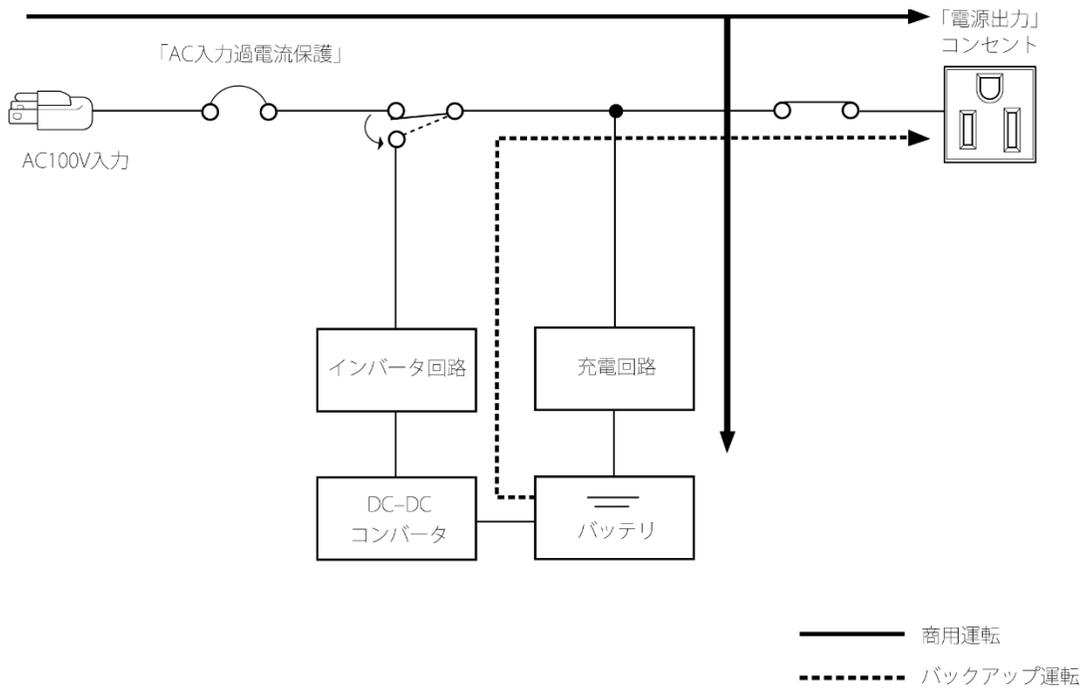
9-2 外形寸法図

<BW100T/BW120T>



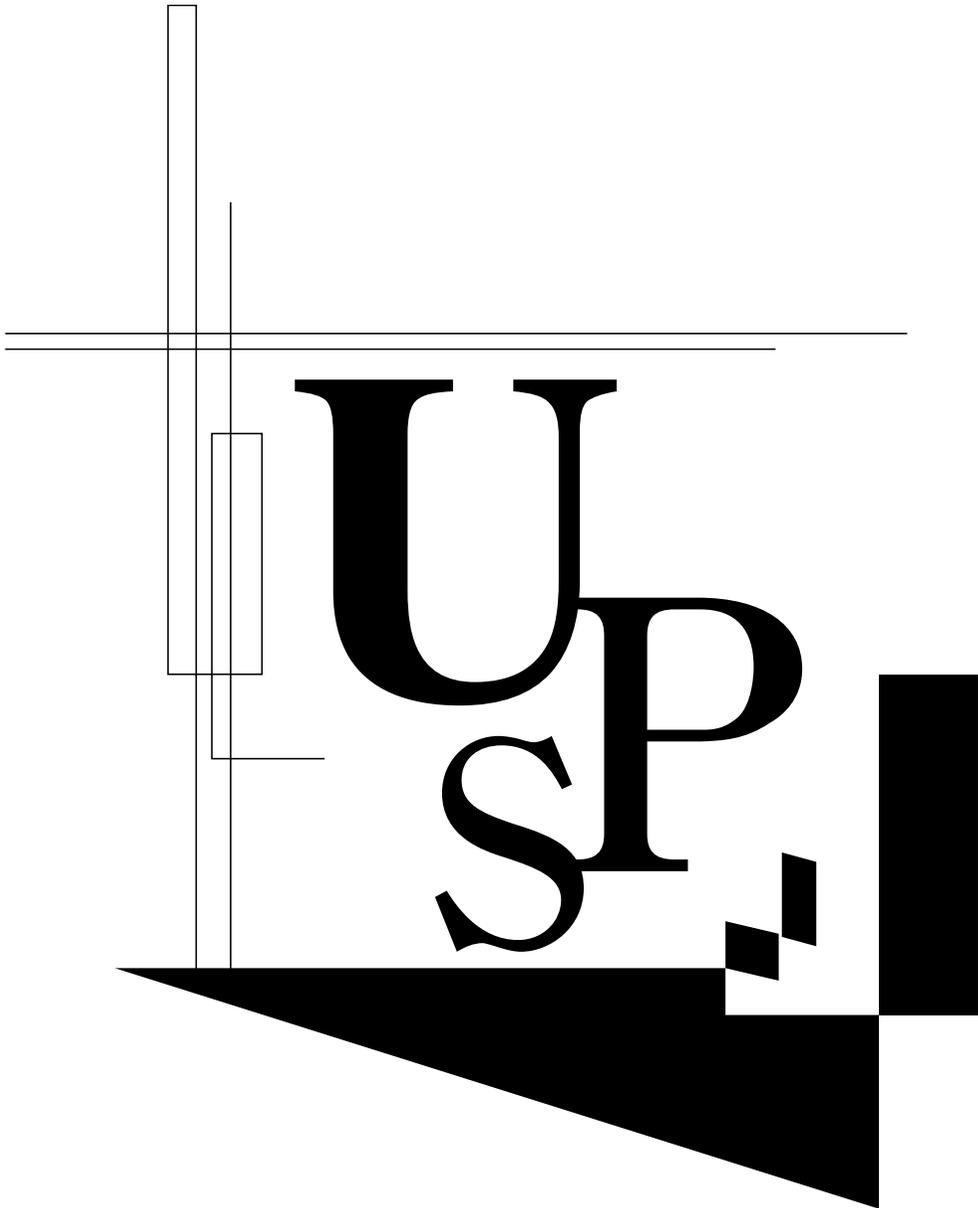
* ゴム足の厚みは 2mm ですが、本体にくぼみがあるため、高さは 1mm になります。

9-3 回路ブロック図



9-4 関連商品

	BW40T/BW55T 用	BW100T/BW120T 用
交換用バッテリーパック	BWB55T	BWB120T
取付金具	BWP55T	BWP120T
USB ケーブル	BUC30	
接点信号ケーブル	BUC31	



本取扱説明書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されております。
本取扱説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

オムロンソーシアルソリューションズ株式会社